

Novell ZENworks® Handheld Management

6.5

www.novell.com

インストールガイド

2004年6月15日



Novell®

法的通知

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容または本書を使用した結果について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また本書の商品性および特定の目的への適合性について、いかなる黙示の保証も否認し、排除します。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる黙示の保証も否認し、排除します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

米国輸出規制または当該国の法律を含む（これに限られません）該当する法律や規制に違反して、この製品を輸出または再輸出することはできません。

Copyright © 1999–2004 Novell, Inc. All rights reserved. 本書の一部または全体を無断で複製・転載することは、その形態を問わず禁じます。

米国特許番号 5,608,903; 5,633,931; 5,671,414; 5,677,851; 5,692,129; 5,758,069; 5,758,344; 5,761,499; 5,784,560; 5,818,936; 5,828,882; 5,832,275; 5,832,483; 5,832,487; 5,859,978; 5,870,561; 5,870,739; 5,873,079; 5,878,415; 5,884,304; 5,893,118; 5,910,803; 5,913,025; 5,919,257; 5,933,503; 5,933,602; 5,933,826; 5,946,467; 5,956,718; 5,963,938; 5,964,872; 5,983,234; 5,987,471; 6,002,398; 6,016,499; 6,023,586; 6,029,247; 6,047,312; 6,052,724; 6,061,726; 6,061,740; 6,061,743; 6,065,017; 6,067,093; 6,094,672; 6,098,090; 6,105,062; 6,105,069; 6,105,132; 6,108,649; 6,115,549; 6,119,122; 6,144,959; 6,167,393; 6,173,289; 6,286,010; 6,308,181; 6,345,266; 6,424,976; 6,516,325; 6,519,610; 6,532,451; 6,578,035; 6,615,350; 6,671,688; 6,684,293; 6,697,813; RE 37,178. 特許出願中

Novell, Inc.
1800 South Novell Place
Provo, UT 84606
U. S. A.

www.novell.com

Novell ZENworks 6.5 Handheld Management インストールガイド
2004年6月15日

オンラインドキュメント： この製品およびその他の Novell 製品のオンラインドキュメントやアップデート版を入手するには、www.novell.com/documentation を参照してください。

Novell の商標

ConsoleOne は、米国 Novell Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

eDirectory は、米国 Novell, Inc. の商標です。

GroupWise は、米国 Novell Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

NetWare は、米国 Novell Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

Novell は、米国 Novell Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

Novell Client は、米国 Novell, Inc. の商標です。

ZENworks は、米国 Novell Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

サードパーティの商標

すべてのサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	7
1 Novell Handheld Management の概要	9
サポートの対象になるデバイス	9
特長と利点	10
接続	10
ポリシーを使ったハンドヘルドデバイスの管理	10
ソフトウェアとファイルの配布	12
ソフトウェアインベントリおよびハードウェアインベントリの収集	13
ZENworks Handheld Management のコンポーネントの理解	13
ConsoleOne	13
ZENworks Handheld Management Server	13
ハンドヘルドクライアント	13
Access Point	14
Desktop Synchronization Integration ソフトウェア	14
2 ZENworks Handheld Management のインストール	15
インストールの計画	15
eDirectory および ConsoleOne の要件	15
ZENworks Handheld Management Server の要件	16
ZENworks Handheld Management Access Point の要件	16
ハンドヘルドクライアントの要件	16
Desktop Synchronization Integration ソフトウェアの要件	17
ファイアウォールに関する考慮事項	18
インストール前タスクの実行	18
ZENworks Handheld Management Server の Windows ユーザーアカウントの作成	19
サービスオブジェクトのユーザーアカウントの作成	20
MAPI プロファイルの作成 (BlackBerry デバイスのみがサポート)	20
スキーマの拡張と製品の使用許諾契約	20
ZENworks Handheld Management サーバコンポーネントのインストール	21
ZENworks Handheld Management Server のインストール	22
他のコンピュータへの Access Point のインストール	29
既存の ConsoleOne への ConsoleOne スナップインのインストール	31
ハンドヘルドクライアントのインストール	31
インストール後のタスクの実行	39
ハンドヘルドサービスパッケージの作成	39
ハンドヘルドインポートポリシーの設定	41

3	サイレントインストールによる Access Point と Desktop Synchronization Integration ソフトウェアのインストール	43
4	ZENworks for Handhelds 5.xから ZENworks 6.5 Handheld Management へのアップグレード	47
	このリリースの新機能	47
	Access Point と Desktop Synchronization Integration ソフトウェア	47
	ユーザベース管理と認証	48
	HTTP/SSL のサポート	48
	拡張されたハードウェアインベントリ	49
	ハンドヘルドデバイスのリセット	49
	ZENworks Handheld Management Server ソフトウェアのアップグレード	49
	Proxy Service ソフトウェアのアップグレード	52
	ZENworks Handheld Management CD を使用した Proxy Service ソフトウェアのアップグレード	53
	Proxy Upgrade ユーティリティを使用した Proxy Service ソフトウェアのアップグレード	54
	Windows CE IP Client または Palm OS IP Client のアップグレード	55
5	ZENworks Handheld Management のアンインストール	57
A	SSL および HTTP 設定の構成	59
	ZENworks Handheld Management Server と Access Point 間の SSL および HTTP 通信の設定	60
	Access Point およびハンドヘルドデバイス間の SSL および HTTP 通信の設定	62
	ZENworks Handheld Management Server と Access Point 間の通信で使用するデフォルトポートの変更	65
	Access Point とハンドヘルドデバイス間の通信で使用するデフォルトポートの変更	66

このガイドについて

この『インストールガイド』では、Novell® ZENworks® Handheld Management の理解とインストールに役立つ包括的および概念的な情報を提供します。

このガイドは、次の章で構成されています。

- ◆ 1 章 9 ページの「Novell Handheld Management の概要」
- ◆ 2 章 15 ページの「ZENworks Handheld Management のインストール」
- ◆ 3 章 43 ページの「サイレントインストールによる Access Point と Desktop Synchronization Integration ソフトウェアのインストール」
- ◆ 4 章 47 ページの「ZENworks for Handhelds 5.x から ZENworks 6.5 Handheld Management へのアップグレード」
- ◆ 5 章 55 ページの「ZENworks Handheld Management のアンインストール」
- ◆ 57 ページの「SSL および HTTP 設定の構成」

関連ドキュメント

ZENworks Handheld Management の管理に関する詳細については、『Novell ZENworks 6.5 Handheld Management 管理ガイド』を参照してください。

ドキュメントの更新

この『インストールガイド』は現在、更新中です。製品の出荷時に、最新の管理情報が NOVELL: Product Documentation Web サイト (<http://www.novell.com/documentation>) に掲載される予定です。

表記規則

Novell のマニュアルでは、大なり記号 (>) を使用して、手順説明の個々の操作や、相互参照パスの項目を区切ります。

商標記号 (®、™ など) は Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標であることを示します。

ご意見の宛先

このガイドに関するご感想やご提案をお聞かせください。proddoc@novell.com 宛てに電子メールでお送りください。

1

Novell Handheld Management の概要

Novell® ZENworks® 6.5 Handheld Management はディレクトリ対応型のシステム管理パッケージです。Handheld Management を使用することにより、システム管理者は、モバイル機器を使用する社員を監督し、ハンドヘルドデバイスの管理にかかるコストと負担を減らすことができます。

ZENworks 6.5 Handheld Management は、Novell ZENworks 6.5 製品スイートに組み込まれています。この製品スイートには、ZENworks Desktop Management および ZENworks Server Management も含まれています。ZENworks 製品では、すべてのネットワークコンポーネントについて、ライフサイクルのディレクトリ対応管理を提供しています。ZENworks 製品ラインの詳細については、[NOVELL: Novell ZENworks \(http://www.novell.co.jp/products/zenworks/\)](http://www.novell.co.jp/products/zenworks/) を参照してください。

ZENworks Handheld Management は Novell eDirectory™ と ConsoleOne® を活用することにより、ソフトウェア配布の自動化と効率化、ソフトウェアとハードウェアに関するインベントリの収集、社員が使用する BlackBerry*、Palm* OS*、および Windows* CE ハンドヘルドデバイスのポリシーベース管理を実現します。

詳細情報については、以下を参照してください。

- ◆ 9 ページの「サポートの対象になるデバイス」
- ◆ 10 ページの「特長と利点」
- ◆ 13 ページの「ZENworks Handheld Management のコンポーネントの理解」

サポートの対象になるデバイス

ZENworks Handheld Management は、次の OS が稼働するハンドヘルドデバイスをサポートします。

- ◆ **Palm OS:** ZENworks Handheld Management は、Palm OS 3.5 以降が稼働するハンドヘルドデバイス (PDA やハイブリッド携帯など) をサポートします。

ZENworks Handheld Management は、Palm OS 4.x 以降が稼働する Palm OS デバイスで使用される拡張カードもサポートします。通常、拡張カードとは SD(Secure Digital) カードやメモリースティックのことを指します。

このマニュアルでは、Palm OS が稼働するハンドヘルドデバイスのことを Palm OS デバイスと総称します。

- ◆ **Windows CE:** ZENworks Handheld Management は、Windows CE 2.11 以降が稼働するハンドヘルドデバイス (PDA やハイブリッド携帯など) をサポートします。

このマニュアルでは、Windows CE (Pocket PC を含む) が稼働するハンドヘルドデバイスのことを Windows CE デバイスと総称します。

- ◆ **RIM OS:** ZENworks Handheld Management は、DataTAC* ネットワークを使用している BlackBerry 850/857 デバイス、および Mobitex* ネットワークを使用している BlackBerry 950/957 デバイスをサポートします。

このマニュアルでは、RIM OS が稼働するハンドヘルドデバイスのことを BlackBerry デバイスと総称します。

特長と利点

次の節で、ZENworks Handheld Management の主な特長と利点について説明します。

- ◆ 10 ページの「[接続](#)」
- ◆ 10 ページの「[ポリシーを使ったハンドヘルドデバイスの管理](#)」
- ◆ 12 ページの「[ソフトウェアとファイルの配布](#)」
- ◆ 13 ページの「[ソフトウェアインベントリおよびハードウェアインベントリの収集](#)」

接続

ZENworks Handheld Management は、キューメッセージング、圧縮、およびチェックポイント / 再開ストラテジを使用することで、低帯域幅の、信頼できない通信チャネルに対して最適化されます。ZENworks Handheld Management を使用すると、モバイルユーザは、LAN に対して特別な接続を実行する必要がなくなります。

Palm OS および Windows CE デバイスの場合、ZENworks Handheld Management は、ユーザの標準の接続メカニズム (TCP/IP 接続、または Palm HotSync* や Microsoft* ActiveSync* などの同期ソフトウェア) を使用して、ZENworks Handheld Management Access Point とハンドヘルドデバイス間のデータ転送を実行します。

BlackBerry デバイスの場合は、BlackBerry 無線電子メールプラットフォームを使用して、ZENworks Handheld Management Access Point とハンドヘルドデバイス間のデータ転送を実行します。

ポリシーを使ったハンドヘルドデバイスの管理

ZENworks Handheld Management で、ポリシーとは、ハンドヘルドデバイスの設定および管理方法を定義するルールセットを指します。具体的には、セキュリティオプション、アプリケーションの可用性、ファイルの取得などを定義します。ポリシーはポリシーパッケージ内に含まれ、ポリシーパッケージ内で管理およびカスタマイズされます。

ZENworks Handheld Management には、ユーザベースポリシーとハンドヘルドベースポリシーの 2 種類のポリシーが用意されています。ZENworks Handheld Management に新たに導入されたユーザベースポリシーを使用すると、eDirectory に保存されたアカウント情報に基づいてハンドヘルドデバイスを管理することができます。ハンドヘルドベースポリシーは以前のバージョンの ZENworks Handheld Management でも提供されており、このポリシーを使用すると、ユーザ認証なしでハンドヘルドデバイスを管理することができます。

ConsoleOne を使用して、ポリシーの作成、設定、および関連付けを実行することにより、次に示す項目を実現できます。

- ◆ BlackBerry、Palm OS、および Windows CE デバイスに対して確実にパスワードを設定できます。

ハンドヘルドデバイスには機密扱いのビジネス情報(会議のメモ、アドレス帳など)が保存されるので、会社のガイドラインにより、すべてのハンドヘルドデバイスのパスワードによる保護が求められる場合があります。セキュリティポリシーを使用して、各エンタプライズデバイスに確実にパスワードを設定することができます。ハンドヘルドデバイスにパスワードが設定されていない場合、そのユーザにはパスワードの設定を促す画面が表示されます。Palm OS および Windows CE デバイスの場合は、高度なパスワード設定を指定することもできます。

- ◆ Palm OS デバイスの場合は、どのアプリケーションを許可するのか、またはどのアプリケーションを許可しないかを指定できます。Windows CE デバイスの場合は、アクセスを許可しないアプリケーションを指定できます。

Palm OS デバイスにインストールすることが許可されたソフトウェアプログラムの一覧を指定することができます。Palm 環境設定ポリシーを使用することにより、会社で使用する各 Palm OS デバイスに対して、許可されたソフトウェアプログラムだけをインストールすることができます。ユーザが、許可されていないプログラムをインストールすると、そのアプリケーションは、ポリシースケジュールに従って自動的に削除されるか、ユーザがデバイスの同期を実行したときに自動的に削除されます。WinCE 環境設定ポリシーを使用すると、[スタート] メニュー (Pocket PC の場合) やデスクトップ (ハンドヘルド PC の場合) に含まれるプログラムを指定できます。

- ◆ Palm OS デバイスおよび Windows CE デバイスのボタンにさまざまなアプリケーションを関連付けることができます。

Palm OS および Windows CE デバイスの実際のハンドヘルドデバイス上にあるボタンには、デフォルトで特定のアプリケーションが割り当てられています。会社で、いくつかのアプリケーションを頻繁に使用する場合があります。環境設定ポリシーを使用することにより、こうしたボタンにさまざまなアプリケーションを関連付けて、アプリケーションに容易にアクセスできるようにし、ユーザの生産性を高めることができます。

- ◆ 自動電源オフ、サウンド、アラーム、ビーム状態など、Palm OS デバイスに関する一般設定を指定できます。

会社で使用する各 Palm OS デバイスに対し、確実に同じ一般設定を実行できます。Palm 環境設定ポリシーにより、会社で使用されるすべてのエンタプライズハンドヘルドデバイスに対して確実に同じ設定を実行し、ヘルプデスクに要するコストを削減することができます。

- ◆ Windows CE デバイスの場合、バッテリーおよび AC アダプタの自動電源オフとタイムアウトの値を設定できます。

会社で使用する各 Windows CE デバイスに対し、確実に同じ電源設定を実行できます。WinCE 設定ポリシーを使用することにより、Windows CE デバイスが使えなくなるバッテリー切れの発生を防ぎ、ユーザの生産性を高めることができます。

- ◆ Palm OS および Windows CE デバイスから取得して、ネットワークに保存するファイルを指定することができます。

ハンドヘルドデバイスからのミッションクリティカルな情報の取得とネットワークへの保存を確実に実行することができます。指定したファイルを、ファイル取得ポリシーを使ってデバイスから取得し、特定のネットワーク上の場所にコピーします。通常のネットワークバックアッププロセスで、こうしたファイルのバックアップを実行できます。

ソフトウェアとファイルの配布

ハンドヘルドデバイスを更新するのに、デバイスを中央の場所で利用できるケースはほとんどありません。したがって、モバイルユーザがバグフィックス、アプリケーションアップデートなどの最新のアプリケーションを常時導入できるよう、ハンドヘルドデバイスにファイルを配布するメカニズムが必要になります。

ZENworks Handheld Management では、アプリケーションの配布とリモートハンドヘルドデバイスへのインストールをいつでも実行できる仕組みを提供することにより、このメカニズムを実現しています。

アプリケーションのコンポーネントが変更されたときにハンドヘルドデバイスを最新ファイルでアップデートするよう、再配布のスケジュールを設定することもできます。

注： BlackBerry デバイスの場合、ZENworks Handheld Management は、クレードルを使って同期を実行する場合に限りこのデバイスへのソフトウェア配布をサポートします。無線同期を使用する場合、ソフトウェア配布をサポートしません。

ZENworks Handheld Management は、ハンドヘルドデバイスで実行するソフトウェア配布のスケジュール設定について包括的なメカニズムを提供します。ソフトウェア配布およびソフトウェアクライアントのスケジュール設定と管理は ConsoleOne から実行します。

ZENworks Handheld Management により、次の利点がもたらされます。

利点	説明
一元化されたスケジュール設定	<p>ConsoleOne を使って、ソフトウェア配布のスケジュールを設定できます。管理者は次の項目を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 配布の対象になるファイル ◆ 配布を実行するタイミング ◆ 配布を実行する間隔
監視機能	<p>ソフトウェア配布の実行後、結果情報が ZENworks Handheld Management Server に送信されます。したがって次に示す、配布およびデバイスに関する状態を分析することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ システム内のすべての配布に関する全体的な状況 ◆ 失敗した配布に関する詳細情報 ◆ 配布出力
レポート機能	<p>ZENworks Handheld Management のレポート機能により、ハンドヘルドデバイスおよびお使いの ZENworks Handheld Management システム全体に関する詳しいレポートが提供されます。</p> <p>たとえば、特定のハンドヘルドデバイスに対して実行したすべてのソフトウェア配布に関するレポートを簡単に生成することができます。ハンドヘルドデバイスにインストールされている全アプリケーションに関するレポートを生成することもできます。</p>
自動グループ化	<p>ZENworks Handheld Management の照会機能により、管理者は、基準に基づいたデバイスグループを自動作成することができます。手動でデバイスグループを作成する必要はありません。</p> <p>たとえば、管理者は照会機能を使用することで、StrongARM プロセッサを搭載した全デバイスを一つのグループに、MIPS プロセッサを搭載した全デバイスを別のグループに含めるよう、デバイスグループを自動作成することができます。</p>

ソフトウェアインベントリおよびハードウェアインベントリの収集

ソフトウェアアセットとハードウェアアセットを管理することは重要です。常に最新のインベントリを保持することにより、ZENworks Handheld Management を使って、次の項目を実行することができます。

- ◆ 使用許諾契約の確実な順守。

ZENworks Handheld Management は、ハンドヘルドデバイスの数と、デバイスにインストールされたアプリケーションのコピー数を識別します。したがって、内部レコードに対してライセンス数を容易に検証できます。

- ◆ ソフトウェアおよびハードウェアに関するアップグレードのプランニング。

特定のアプリケーションバージョンへのアップデートを決定した場合、または新しいアプリケーションを導入するのに特定の RAM 容量が必要になることが判明した場合、ZENworks Handheld Management を使って、どのハンドヘルドデバイスをアップグレードする必要があるのか、およびいくつのコンポーネントをオーダーする必要があるのかを容易に識別できます。

ZENworks Handheld Management のコンポーネントの理解

次の節では、ZENworks Handheld Management の主要なコンポーネントの概要について説明します。

- ◆ [13 ページの「ConsoleOne」](#)
- ◆ [13 ページの「ZENworks Handheld Management Server」](#)
- ◆ [13 ページの「ハンドヘルドクライアント」](#)
- ◆ [14 ページの「Access Point」](#)

ConsoleOne

ConsoleOne は、ZENworks Handheld Management の管理ツールです。ConsoleOne を使用することにより、ポリシーベースのハンドヘルドデバイス管理を実行できます。ConsoleOne のユーティリティである Inventory Viewer を使用して、すべてのハードウェアおよびソフトウェアに関するインベントリ（特定のデバイスまたはシステム内の全デバイスの両方）の表示、照会の作成、およびレポートの生成を実行できます。

ZENworks Handheld Management Server

ZENworks Handheld Management Server は、Windows NT*/2000/XP コンピュータ（サーバまたはワークステーション）でサービスとして実行します。ZENworks Handheld Management Server は、ZENworks Handheld Management の一元化されたセットアップポイントであり、全クライアントとの通信を管理するだけでなく、セットアップに関する配布スケジュールや配布結果を保持します。

ハンドヘルドクライアント

ハンドヘルドクライアントは、BlackBerry、Palm OS、および Windows CE デバイスにインストール可能な ZENworks Handheld Management コンポーネントです。

ハンドヘルドクライアントは、アプリケーションのインストール、各デバイスのソフトウェアとハードウェアに関するインベントリの収集、およびポリシーの適用を実行します。

Access Point

ハンドヘルドデバイスが、ZENworks Handheld Management Server サービスと直接通信することはありません。ハンドヘルドデバイスは Access Point と通信し、Access Point は ZENworks Handheld Management Server サービスと通信します。

インストールプログラムを使用して ZENworks Handheld Management Server をインストールすると、同じコンピュータに対し ZENworks Handheld Management Access Point が自動的にインストールされます。

ただし環境によっては、TCP/IP を介して ZENworks Handheld Management Server と通信する、Windows NT/2000/XP が稼働する他のコンピュータに Access Point をインストールすることもできます。たとえば、通信負荷の分散と WAN 設定のサポートの拡張を実現するために、他のコンピュータに Access Point をインストールすることができます。Access Point は、アプリケーションとポリシーの配布を管理し、アプリケーションインストールとポリシー適用の結果を ZENworks Handheld Management Server に送信します。

Desktop Synchronization Integration ソフトウェア

ZENworks Handheld Management Desktop Synchronization Integration ソフトウェアは、ハンドヘルドデバイスがクレードルを使って接続する相手先のコンピュータ、または Microsoft* ActiveSync や Palm HotSync を使って同期を実行するコンピュータにインストールする必要があります。ハンドヘルドデバイスが、Ethernet 接続のクレードルまたは無線で ZENworks Handheld Management Access Point に接続できる場合、Desktop Synchronization Integration をインストールする必要はありません。

Desktop Synchronization Integration ソフトウェアは、ZENworks Handheld Management を使って BlackBerry デバイスにソフトウェアを配布する場合にも、コンピュータにインストールする必要があります。Desktop Synchronization Integration ソフトウェアは、TCP/IP 通信をサポートしない Palm OS デバイスでは必須になります。

インストールプログラムを使用して ZENworks Handheld Management Server をインストールすると、同じコンピュータに ZENworks Handheld Management Desktop Synchronization Integration ソフトウェアが自動的にインストールされます。

2 ZENworks Handheld Management のインストール

次の節では、Novell® ZENworks® Handheld Management ソフトウェアの導入を計画して、ソフトウェアをインストールする方法について説明します。

- ◆ 15 ページの「インストールの計画」
- ◆ 18 ページの「インストール前タスクの実行」
- ◆ 21 ページの「ZENworks Handheld Management サーバコンポーネントのインストール」
- ◆ 39 ページの「インストール後のタスクの実行」

インストールの計画

次の節では、ZENworks Handheld Management をインストールする場合の各コンポーネントの要件について説明するほか、ZENworks Handheld Management のインストールを計画および実行する際に考慮する必要がある追加情報を示します。

- ◆ 15 ページの「eDirectory および ConsoleOne の要件」
- ◆ 16 ページの「ZENworks Handheld Management Server の要件」
- ◆ 16 ページの「ZENworks Handheld Management Access Point の要件」
- ◆ 16 ページの「ハンドヘルドクライアントの要件」
- ◆ 17 ページの「Desktop Synchronization Integration ソフトウェアの要件」
- ◆ 18 ページの「ファイアウォールに関する考慮事項」

eDirectory および ConsoleOne の要件

ZENworks Handheld Management をインストールするには、Novell eDirectory™ 8.5 以降および Novell ConsoleOne® 1.3.6 以降が必要です。

注：ZENworks for Handhelds 5.x では ConsoleOne 1.3.3 以降が必須でした。ZENworks for Handhelds 5.x からのアップグレードを実行する際、ConsoleOne 1.3.6 へのアップグレードを完了していない場合には、1.3.6 にアップグレードする必要があります。

eDirectory に関する詳細については、[Novell eDirectory Web サイト \(http://www.novell.co.jp/products/edirectory/\)](http://www.novell.co.jp/products/edirectory/) を参照してください。

ConsoleOne に関する詳細については、[Novell ConsoleOne Web サイト \(http://www.novell.com/products/soles/consoleone\)](http://www.novell.com/products/soles/consoleone) を参照してください。

ZENworks 6.5 Companion 1 CD には、ConsoleOne および eDirectory ソフトウェアが収録されています。

ZENworks Handheld Management Server の要件

ZENworks Handheld Management Server をインストールするコンピュータは、次の要件を満たす必要があります。

- ◆ Windows NT* バージョン 4.0 (Service Pack 4 以降) サーバまたはワークステーション、Windows Server 2003、Windows 2000 サーバまたはワークステーション、Windows XP サーバまたはワークステーション
- ◆ Pentium* 以上のプロセッサ
- ◆ 20MB のディスク容量 (インストール時に必要)
- ◆ 最低 64MB の RAM
- ◆ 最低画面解像度 800 – 600
- ◆ Novell NetWare[®] ボリュームにアクセスしてアプリケーションデータや取得ファイルの保存を実行する場合は、Novell Client™

インストール手順については、[22 ページの「ZENworks Handheld Management Server のインストール」](#)を参照してください。

ZENworks Handheld Management Access Point の要件

ZENworks Handheld Management Access Point ソフトウェアをインストールするコンピュータは、次の要件を満たす必要があります。

- ◆ Windows NT バージョン 4.0 (Service Pack 4 以降) サーバまたはワークステーション、Windows Server 2003、Windows 2000 サーバまたはワークステーション、Windows XP サーバまたはワークステーション
- ◆ Pentium 以上のプロセッサ
- ◆ 20MB のディスク容量 (インストール時に必要)
- ◆ 最低 64MB の RAM

詳細については、[29 ページの「他のコンピュータへの Access Point のインストール」](#)を参照してください。

ハンドヘルドクライアントの要件

ZENworks Handheld Management は、次に示すデバイス /OS が稼働するハンドヘルドデバイスをサポートします。

- ◆ DataTAC ネットワークを使用している BlackBerry 850/857 デバイスおよび Mobitex ネットワークを使用している BlackBerry 950/957 デバイス
- ◆ Palm OS バージョン 3.5 以降
- ◆ Windows CE バージョン 2.11 以降 (Pocket PC を含む)

ハンドヘルドクライアントとは、システム内の各管理対象ハンドヘルドデバイスにインストールされる ZENworks Handheld Management コンポーネントです。ハンドヘルドクライアントはアプリケーションのインストール、各デバイスのソフトウェアおよびハードウェアに関するインベントリの収集、およびポリシーの適用を実行します。

ZENworks Handheld Management は、次の種類のハンドヘルドクライアントを提供します。

- ◆ [17 ページの「Windows CE IP Client」](#)
- ◆ [17 ページの「Palm OS IP Client」](#)
- ◆ [17 ページの「Palm HotSync Client」](#)
- ◆ [17 ページの「RIM BlackBerry Client」](#)

Windows CE IP Client

Windows CE IP Client は、Windows CE デバイスを管理するソフトウェアです。Windows CE IP Client は、Windows CE バージョン 2.11 以降 (Pocket PC を含む) が稼働する Windows CE デバイ스에インストールすることができます。

詳細については、[31 ページの「Windows CE IP Client のインストール」](#)を参照してください。

Palm OS IP Client

Palm OS IP Client は、同期を実行するのに、サードパーティ製ソフトウェアの代わりに IP を使用する Palm OS デバイスの管理ソフトウェアです。Palm IP Client は、Palm OS バージョン 3.x 以降を実行している Palm OS デバイ스에インストールできます。

詳細については、[33 ページの「Palm OS IP Client のインストール」](#)を参照してください。

Palm HotSync Client

Palm OS デバイスの同期に Palm HotSync を使用している場合、Desktop Synchronization Integration ソフトウェアをインストールする必要があります。詳細については、[17 ページの「Desktop Synchronization Integration ソフトウェアの要件」](#)を参照してください。

RIM BlackBerry Client

RIM BlackBerry Client は、BlackBerry 無線ネットワークで通信を実行する BlackBerry デバイスの管理ソフトウェアです。RIM BlackBerry Client は、DataTAC ネットワークを使用している BlackBerry 850/857 および Mobitex ネットワークを使用している BlackBerry 950/957 デバイ스에インストールすることができます。

詳細については、[35 ページの「RIM BlackBerry Client のインストール」](#)を参照してください。

Desktop Synchronization Integration ソフトウェアの要件

ZENworks Handheld Management の Desktop Synchronization Integration ソフトウェアをインストールするコンピュータは、次の要件を満たす必要があります。

- ◆ Windows NT バージョン 4.0 (Service Pack 4 以降) サーバまたはワークステーション、Windows Server 2003、Windows 2000 サーバまたはワークステーション、Windows XP サーバまたはワークステーション
- ◆ Pentium 以上のプロセッサ
- ◆ 20MB のディスク容量 (インストール時に必要)
- ◆ 最低 64MB の RAM

次に示すサードパーティ製同期ソフトウェアパッケージのいずれかを、同期を実行するデバイスにインストールする必要があります。

- ◆ Palm HotSync Manager バージョン 3.0 以降
- ◆ Microsoft ActiveSync バージョン 3.1 以降

Windows CE デバイスの管理に ActiveSync を使用する場合、同期に使用されるコンピュータに Internet Explorer 4.0 以降のバージョンをインストールしてから、Access Point をインストールする必要があります。

ZENworks Handheld Management と一緒に使用する同期ソフトウェアパッケージの設定に関する詳細については、[37 ページの「Desktop Synchronization Integration ソフトウェアのインストール」](#)を参照してください。

ファイアウォールに関する考慮事項

Access Point のインストール先になるコンピュータが、ファイアウォールの外部（たとえば、インターネット）から ZENworks Handheld Management Server に接続している場合、ファイアウォールを設定するときに次の情報が役立つことがあります。

- ◆ Access Point は、TCP ポート 2398 を使用して ZENworks Handheld Management Server に接続します。ハンドヘルドデバイス上の ZENworks Handheld Management IP エージェントは、TCP ポート 2400 を使用して接続します。これらの入力接続を許可するように、お使いのファイアウォールを設定する必要があります。
- ◆ 最適なパフォーマンスを実現するには、ファイアウォールの UDP ポート 2398 で（ZENworks Handheld Management Server から ZENworks Handheld Management Access Point コンピュータへの）発信 UDP パケットを許可する必要があります。
- ◆ HTTP カプセル化を有効にした場合、必ずしもファイアウォールを設定する必要はなくなります。これは、HTTP カプセル化を有効にすると伝送データは HTTP 形式に変換され、HTTP 以外のトラフィックをブロックするルータを通過できるようになるためです。詳細については、[59 ページの「SSL および HTTP 設定の構成」](#)を参照してください。

インストール前タスクの実行

ZENworks Handheld Management Server をインストールする前に、次のタスクを完了しておく必要があります。

- ◆ [19 ページの「ZENworks Handheld Management Server の Windows ユーザアカウントの作成」](#)
- ◆ [20 ページの「サービスオブジェクトのユーザアカウントの作成」](#)
- ◆ [20 ページの「MAPI プロファイルの作成 \(BlackBerry デバイスのみがサポート\)」](#)
- ◆ [20 ページの「スキーマの拡張と製品の使用許諾契約」](#)

ZENworks Handheld Management Server の Windows ユーザアカウントの作成

サービスとしてログインして ZENworks Handheld Management データベースおよびアプリケーションデータにアクセスするのに、ZENworks Handheld Management Server はローカルコンピュータの Administrators グループのメンバーである有効な Windows ユーザアカウントを必要とします。

Administrators グループにサーバユーザアカウントを作成するには

- 1 Windows NT/2000/XP コンピュータで、Administrator としてログインするか、Administrators グループのメンバーとしてログインします。

- 2 [スタート] > [設定] > [コントロール パネル] の順にクリックします。

- 3 [ユーザとパスワード] をダブルクリックします。

- 4 [追加] をクリックします。

[追加] ボタンが無効になっている場合は、[ユーザーがこのコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードの入力が必要] チェックボックスを選択します。

- 5 ユーザ名、フルネーム、および新しいアカウントの説明を入力し、[次へ] をクリックします。

- 6 新しいアカウントのパスワードを入力した後、パスワードを再入力して確認し、[次へ] をクリックします。

- 7 [その他] ボタンを選択して、ドロップダウンリストから [Administrators] をクリックし、[完了] をクリックします。

新たに作成したユーザアカウントのパスワードを無期限に使用できるように設定する必要があります。パスワードに期限を設定した場合、パスワードを再設定してからでないとサービスをロードできません。

パスワードを無期限に使用できるように設定するには

- 1 Windows NT/2000/XP コンピュータで、Administrator としてログインするか、Administrators グループのメンバーとしてログインします。

- 2 [スタート] > [設定] > [コントロール パネル] の順にクリックします。

- 3 [管理ツール] をダブルクリックします。

- 4 [コンピュータの管理] をダブルクリックします。

- 5 [システム ツール] の [ローカル ユーザーとグループ] を展開します。

- 6 [ユーザー] をクリックします。

- 7 右のペインに表示されている、**19 ページのステップ 4** で作成したユーザアカウントを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

- 8 [ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要] チェックボックスの選択を解除します。

- 9 [パスワードを無期限にする] を選択します。

- 10 [OK] をクリックします。

サービスオブジェクトのユーザアカウントの作成

ZENworks Handheld Management サービスオブジェクトは、LDAP を介して eDirectory にアクセスするのに、有効なユーザアカウントを必要とします。このユーザは ConsoleOne で作成します。

このアカウントに対して無期限のパスワードを設定していることを確認します。

このユーザアカウントにどのような権限を割り当てるかは、アプリケーションデータを取得するため、または取得ファイルを保存するために NetWare ボリュームにアクセスする必要があるかどうかによって異なります。

NetWare ボリュームのオブジェクトにアクセスしたり、取得ファイルを NetWare ボリュームにコピーしたりする場合、ユーザは少なくとも、NetWare サーバに関する読み取り、書き込み、作成の権限を保持している必要があります。

NetWare ボリュームへのアクセスが不要である場合、このユーザアカウントには最低でも、ZENworks Handheld Management オブジェクトおよびポリシーを含むすべてのツリー領域に関する読み取り、書き込み、作成、名前変更、比較、および削除権限を設定する必要があります。

MAPI プロファイルの作成 (BlackBerry デバイスのみがサポート)

ZENworks Handheld Management を使用して BlackBerry デバイスを管理する場合、ZENworks Handheld Management Server がインストールされたコンピュータに MAPI プロファイルを作成して、電子メールシステムに接続する必要があります。

ZENworks Handheld Management は、Novell GroupWise[®]、Microsoft Exchange、Lotus Notes*、POP3 または IMAP に準拠するすべての電子メールシステムなど、RIM がサポートしているのと同じグループウェア / 電子メールシステムをサポートします。

MAPI プロファイルを作成する前に、20 ページの「サービスオブジェクトのユーザアカウントの作成」で作成したユーザアカウントを使ってログインします。MAPI プロファイルの作成手順については、Windows のヘルプまたはお使いの電子メールシステムのヘルプを参照してください。

スキーマの拡張と製品の使用許諾契約

ZENworks Handheld Management Server をインストールする前に、ZENworks Handheld Management の eDirectory スキーマを拡張して、ディレクトリの準備を実行する必要があります。

スキーマを拡張するには、ツリーにルートレベルの admin 権限を設定するほか、Novell Client™ をインストールする必要があります。

スキーマ拡張ツールを実行する前に、拡張の対象になるツリーにログインしていることを確認します。

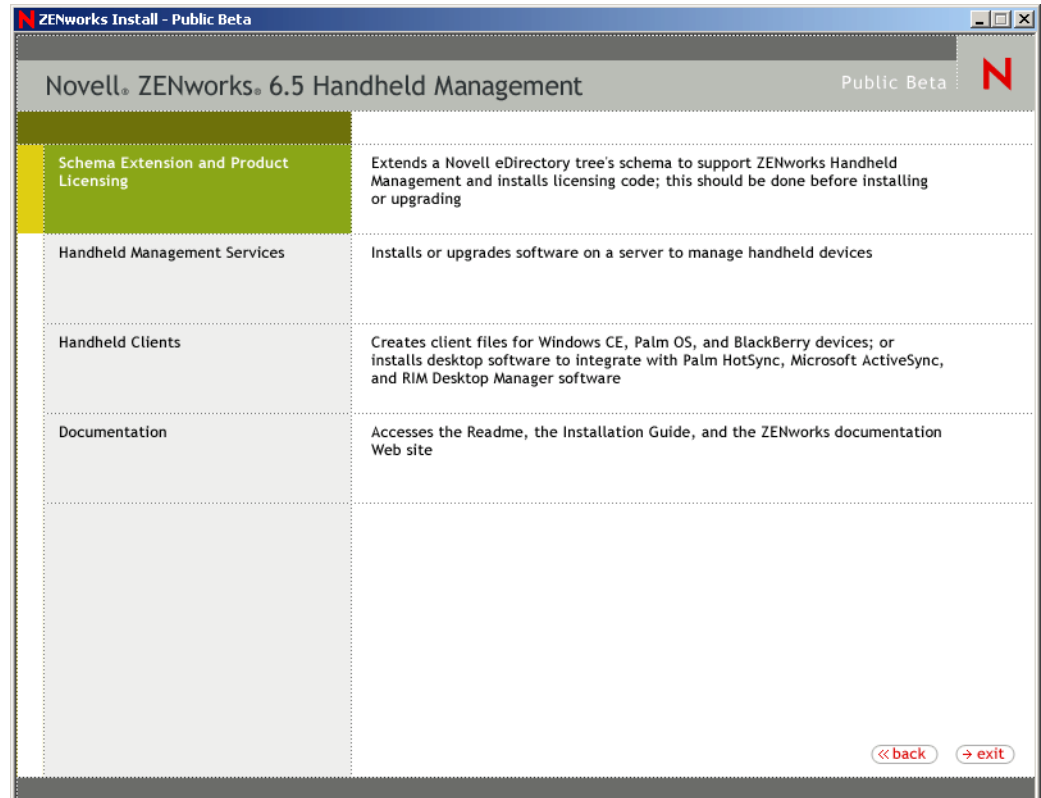
スキーマを拡張するには


- 1 Novell Client が実行しているコンピュータに *ZENworks Handheld Management* CD を挿入します。

インストールプログラムが自動的に実行されます。プログラムが自動的に実行されない場合は、CD のルートにある winsetup.exe を手動で実行します。

- 2 [Handheld Management] をクリックします。
- 3 [English] をクリックします。

- 4 [Schema Extension and Product Licensing] をクリックします。



- 5 [Software License Agreement] で言語を選択し、[Accept] を選択して、[Next] をクリックします。
- 6  をクリックして、オブジェクトを作成する eDirectory ツリーを選択し、[Extend Schema] チェックボックスを選択します。
- 7 [Next] をクリックします。
- 8 ライセンスコードを入力します。
ライセンスコードを入力しなかった場合、90 日間だけ本ソフトウェアをご利用いただけます。
- 9 インストール概要を確認します。変更を実行するには、[Back] をクリックします。[Finish] をクリックして、スキーマを拡張し、製品の使用許諾契約に同意します。

ZENworks Handheld Management サーバコンポーネントのインストール

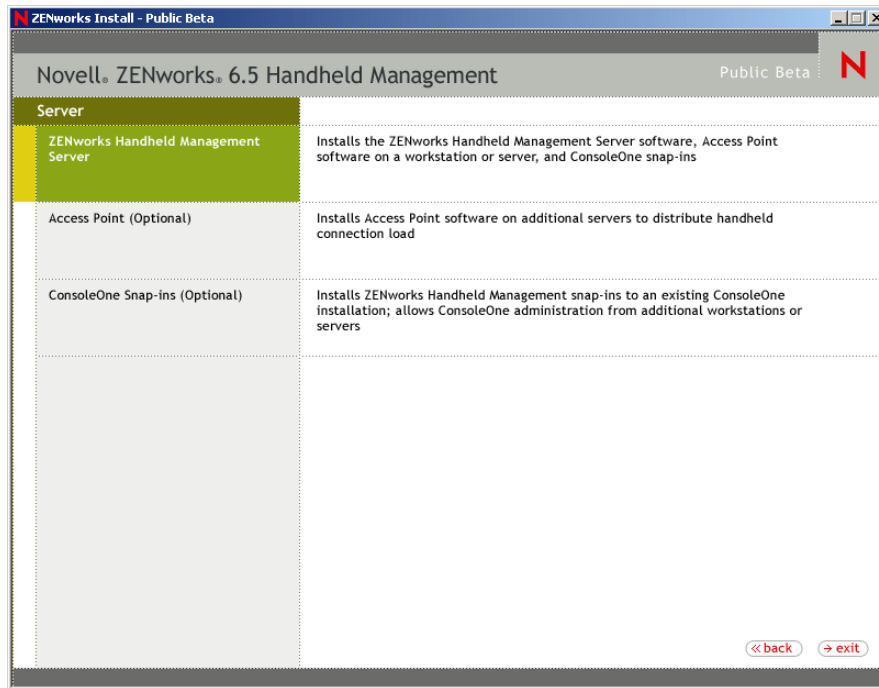
18 ページの「インストール前タスクの実行」の手順を実行したら、ZENworks Handheld Management ソフトウェアをインストールする準備は完了です。

次の節では、ZENworks Handheld Management のインストールに関する詳細情報について説明します。

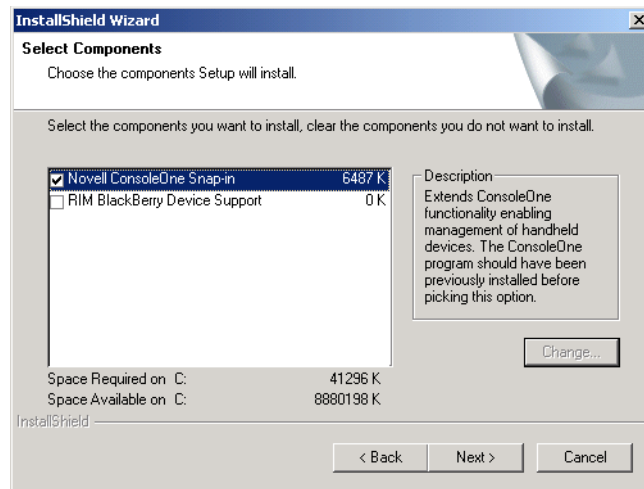
- ◆ 22 ページの「ZENworks Handheld Management Server のインストール」
- ◆ 29 ページの「他のコンピュータへの Access Point のインストール」
- ◆ 31 ページの「既存の ConsoleOne への ConsoleOne スナップインのインストール」

ZENworks Handheld Management Server のインストール

- 1 ZENworks Handheld Management Server をインストールする Windows NT/2000/XP コンピュータの CD ドライブに、ZENworks Handheld Management Product CD を挿入します。
インストールプログラムが自動的に実行されます。プログラムが自動的に実行されない場合は、CD のルートにある winsetup.exe を手動で実行します。
- 2 [Handheld Management] をクリックします。
- 3 [English] をクリックします。
- 4 [Handheld Management Services] をクリックします。



- 5 [ZENworks Handheld Management Server] をクリックします。
- 6 [Next] をクリックします。
- 7 使用許諾契約書を読み、条項に同意する場合は [Yes] をクリックします。
使用許諾契約の条項に同意されない場合は、ソフトウェアをインストールしないでください。
- 8 ZENworks Handheld Management Server ソフトウェアがインストールされるディレクトリを確認し (必要に応じて、異なるディレクトリを参照します)、[Next] をクリックします。

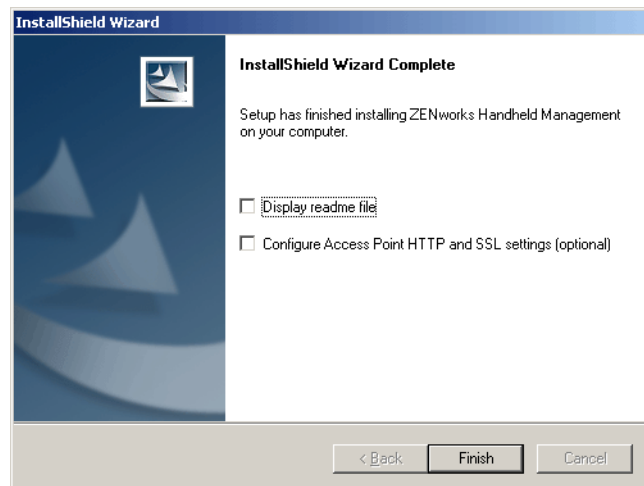


9 [Select Components] ページで、インストールするコンポーネントを選択します。

- ◆ **[Novell ConsoleOne Snap-In]** : ハンドヘルドデバイスを管理できるよう、ConsoleOne の機能を拡張します。デフォルトではこのオプションが有効にされています。ZENworks Handheld Management Server をインストールする前に、少なくとも 1 台のワークステーションまたはサーバに ConsoleOne 1.3.6 以降がインストールされている必要があります。詳細については、[31 ページの「既存の ConsoleOne への ConsoleOne スナップインのインストール」](#)を参照してください。
- ◆ **[RIM BlackBerry Device Support]** : RIM BlackBerry デバイスを管理するためのサポートを追加します。このオプションを選択する場合、電子メールアクセス用の MAPI プロファイルを設定しておく必要があります。詳細については、[20 ページの「MAPI プロファイルの作成 \(BlackBerry デバイスのみがサポート\)」](#)を参照してください。

10 [Next] をクリックします。

11 [Start Copying Files] ページの設定を確認して、[Next] をクリックします。



12 (省略可能) [Display Readme File] を選択して Readme ファイルを表示し、ZENworks Handheld Management をインストールするときの注意点、および使用するときに認識しておく必要のある製品の問題点を確認します。

- 13 (省略可能)HTTP カプセル化を有効にしたり、SSL(Secure Sockets Layer)を設定したり、デフォルトのポート設定を変更したりする場合には、[Configure Access Point HTTP and SSL Settings] チェックボックスを選択します。

注：ZENworks Handheld Management Server が Novell eDirectory と同じサーバで実行している場合に、HTTP ポートを変更せずに HTTP を有効にすると、ZENworks Handheld Management Server は起動できなくなります。eDirectory はデフォルトでポート 80 を使用します。これは、ZENworks Handheld Management Server が使用するデフォルトのポートと同じです。同じポートで両方のサービスがリスンすることはできません。

- 14 [Finish] をクリックします。

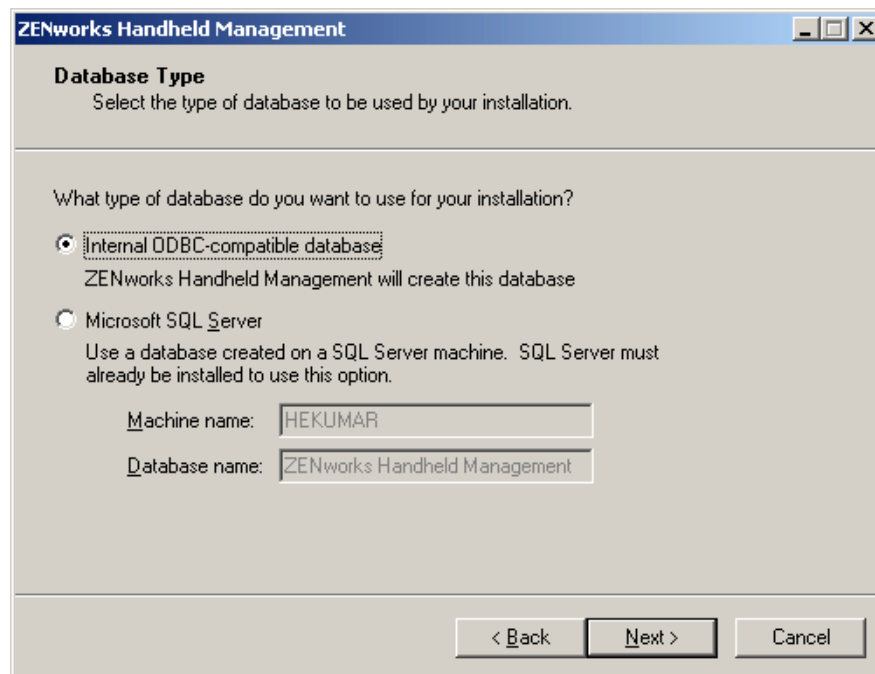
- 15 (条件に応じて実行)24 ページのステップ 13 で [Configure Access Point HTTP and SSL Settings] チェックボックスを選択した場合、SSL の設定、HTTP カプセル化の有効化、およびデフォルトのポート設定の変更に関する手順については、A 章 59 ページの「SSL および HTTP 設定の構成」を参照してください。この操作が完了したら、24 ページのステップ 16 を続行します。

- 16 [Next] をクリックします。

- 17 ZENworks Handheld Management でデータベースを作成する場合は、[Internal ODBC-Compatible Database] を選択します。

または

[Microsoft SQL Server] を選択して、コンピュータ名とデータベース名を指定します。



SQL データベースを使用する場合、SQL Server がインストールされている必要があります。

注：現在 ZENworks Desktop Management を使用中の場合、ハンドヘルドのインベントリ情報を含むよう ZENworks Desktop Management データベースを拡張することはできません。ZENworks Handheld Management のインベントリデータベースと ZENworks Desktop Management のインベントリデータベースは現在分離されています。

- 18 [Next] をクリックします。

- 19 19 ページの「ZENworks Handheld Management Server の Windows ユーザアカウントの作成」で作成したアカウントのドメイン名、アカウント名、およびパスワードを [Service User] ダイアログボックスで指定して、[Next] をクリックします。

ZENworks Handheld Management

Service User
Specify the account information of the user that was created for the server service.

This user account selected for the service must be a member of the Administrators group on this machine. It is used to access other Windows network resources and to log in to Microsoft SQL server (if required).

Domain:

Account name:

Password:

Confirm password:

< Back Next > Cancel

- 20 [Directory User Information] ダイアログボックスで、eDirectory がインストールされているサーバ名と、20 ページの「サービスオブジェクトのユーザアカウントの作成」で作成したアカウントのユーザ名およびパスワードを指定し、[Next] をクリックします。

ZENworks Handheld Management

Directory User Information
Enter the account information required to access the directory.

Configure the name of the eDirectory server, secure LDAP port number, username and password to be used to access the eDirectory resources.

Server name:

Secure LDAP port:

Username: ...

Password:

Verify password:

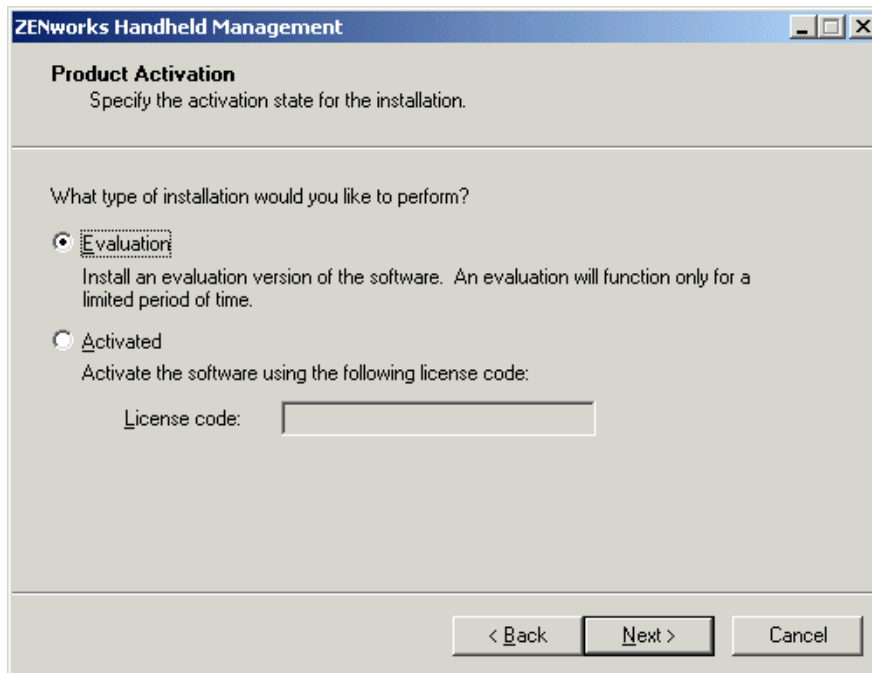
< Back Next > Cancel

注：ユーザには、指定したコンテナ内にサービスオブジェクトを作成する権限が必要です。ハンドヘルドオブジェクトを作成して、ツリー内のアプリケーションとポリシーオブジェクトにアクセスする権限も必要です。ツリー内のユーザを参照し、フルコンテキスト名を指定します。

- 21 (条件に応じて実行) [Product Activation] ダイアログボックスで、[Activated] オプションを選択し、製品のライセンスコードを入力します。

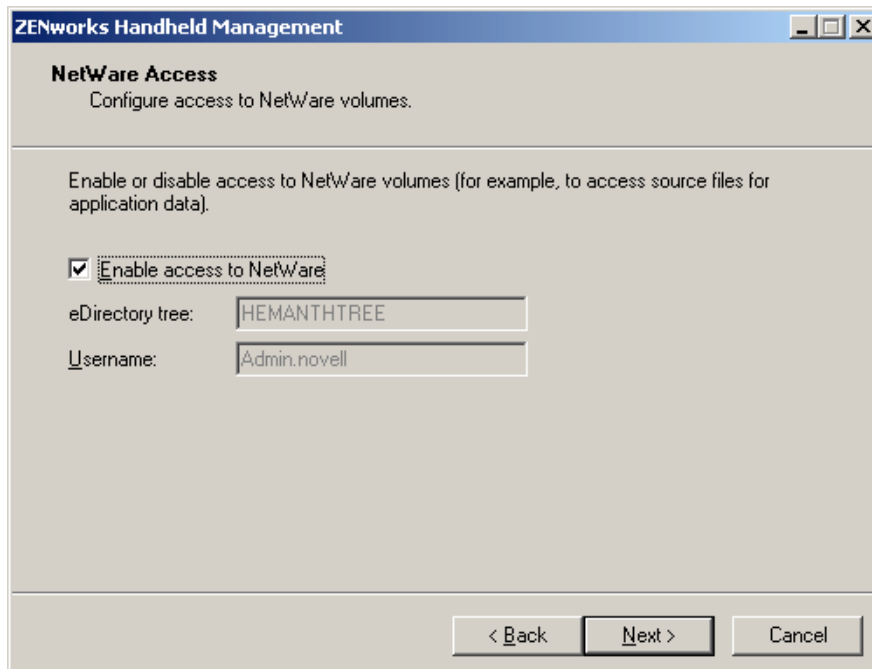
または

90 日間限定の評価ライセンスを使用する場合は、[Evaluation] を選択します。

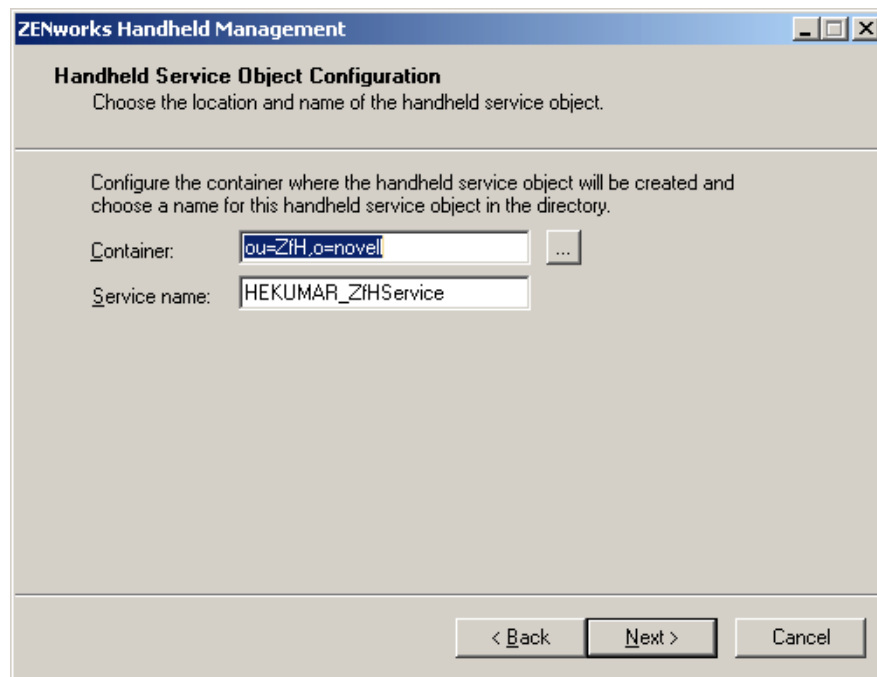


- 22 [Next] をクリックします。

- 23 指定したツリー内の NetWare ボリューム上にあるオブジェクトにアクセスしたり、取得ファイルを NetWare ボリュームに保存したりする場合は、[Enable Access to NetWare] チェックボックスを選択します。

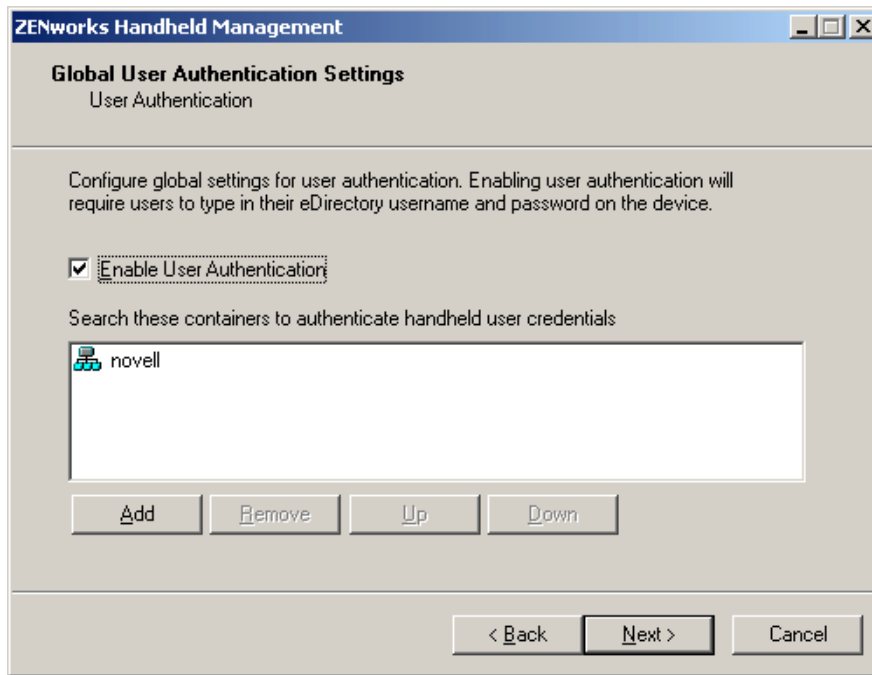


- 24 [Next] をクリックします。
- 25 サービスオブジェクトを作成するコンテナを選択し、[Next] をクリックします。コンテナを参照するには、有効な LDAP ユーザを設定する必要があります。



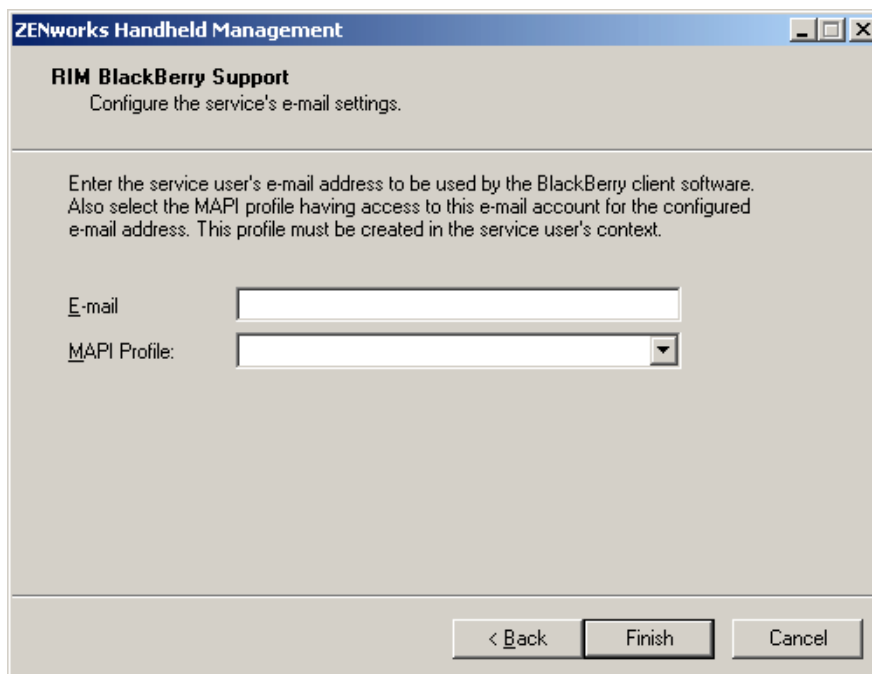
- 26 (省略可能) ハンドヘルドデバイスを使用する際にユーザの eDirectory ユーザ名とパスワードの入力を求める画面を表示する場合は、[Global User Authentication Settings] ページで [Enable User Authentication] チェックボックスを選択し、[Add] をクリックして、コンテナリストに追加するコンテナを指定し、[OK] をクリックします。

デバイスベースの管理ではなく、ユーザベースの管理を使用する場合には、[Enable User Authentication] チェックボックスを選択します。



27 [Next] をクリックします。

28 (条件に応じて実行)RIM BlackBerry サポートを有効にすることを選択した場合、BlackBerry Client ソフトウェアが使用するサービスユーザの電子メールを入力し、20 ページの「[MAPI プロファイルの作成 \(BlackBerry デバイスのみがサポート\)](#)」で作成した MAPI プロファイルを選択して、[Finish] をクリックします。



29 [Finish] をクリックします。

30 ZENworks Handheld Management Server ソフトウェアをインストールしたコンピュータのインストールディレクトリに共有を作成します。

デフォルトのインストールディレクトリは、`c:\program files\novell\zfh` です。

他のコンピュータへの Access Point のインストール

インストールプログラムを使用して ZENworks Handheld Management Server をインストールすると、同じコンピュータに ZENworks Handheld Management Access Point がインストールされます。

Access Point を他のコンピュータにインストールして、通信負荷の分散と WAN 環境サポートの拡張を実現することができます。このとき、インストール先のコンピュータは、TCP/IP を介して ZENworks Handheld Management Server と通信できる必要があります。

通常はネットワークに接続されていないが、Windows CE デバイスとの同期に使用するラップトップまたはデスクトップコンピュータに、Access Point をインストールすることもできます。こうしたコンピュータに Access Point をインストールした場合、ZENworks Handheld Management サーバがネットワークに接続されていなくても、同期を実行する Windows CE デバイスは Access Point と通信することができます。こうしたラップトップまたはデスクトップコンピュータをネットワークに接続したときに、Access Point と ZENworks Handheld Management Server 間の通信が実行されます。

注：ネットワークから切断されたコンピュータに IP アドレスが割り当てられていない場合、Access Point への接続を実現するには、Access Point 名として PPP_PEER を使用するように Windows CE デバイスを設定する必要があります。

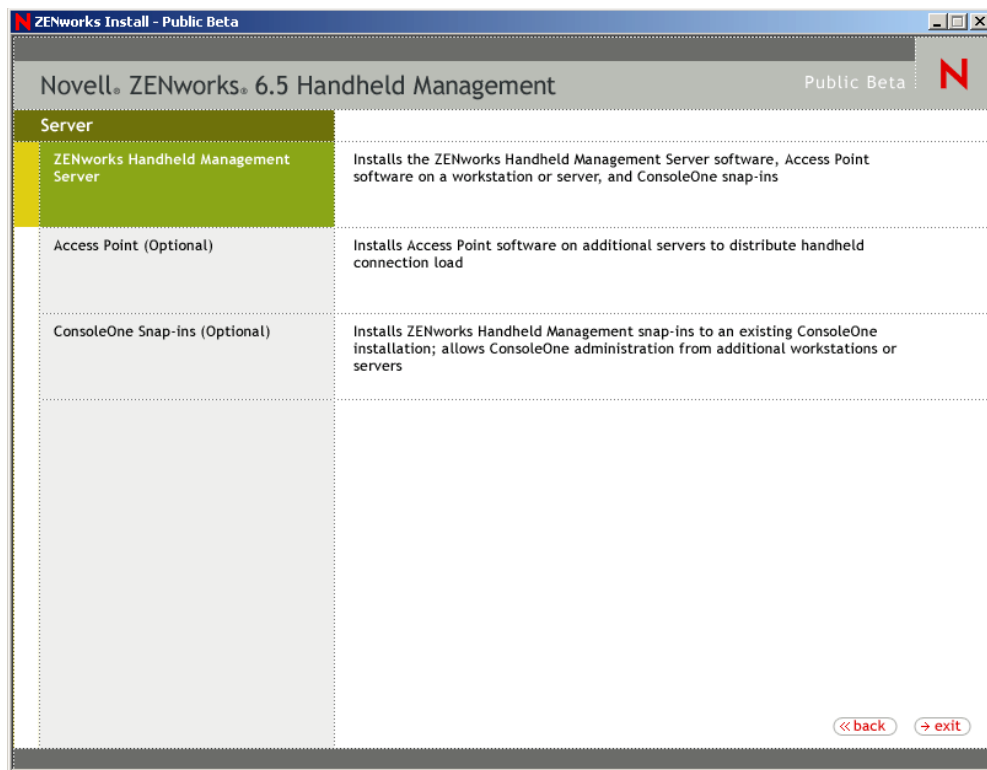
Access Point をインストールする場合、Administrators グループのメンバーとしてログインする必要があります。

他のコンピュータに Access Point をインストールするには

- 1 CD ドライブに *ZENworks Handheld Management* CD を挿入します。

インストールプログラムが自動的に実行されます。プログラムが自動的に実行されない場合は、CD のルートにある `winsetup.exe` を手動で実行します。

- 2 [Handheld Management] をクリックします。
- 3 [English] をクリックします。
- 4 [Handheld Management Services] をクリックします。
- 5 [Access Point] をクリックします (省略可能)。



- 6 [Welcome] ページで [Next] をクリックします。
- 7 使用許諾契約書を読み、条項に同意する場合は [Yes] をクリックします。
使用許諾契約の条項に同意されない場合は、ソフトウェアをインストールしないでください。
- 8 Access Point がインストールされるディレクトリを確認し（必要に応じて、異なるディレクトリを参照します）、[Next] をクリックします。
- 9 [Customer Information] ページにご自分の名前と会社名を指定します。
- 10 [Server Configuration] ページで、ZENworks Handheld Management Server がインストールされているコンピュータの名前または IP アドレスを指定します。
- 11（省略可能）ハンドヘルドデバイスに対しユーザベースの管理を使用している場合、ZENworks Handheld Management がユーザのアカウント情報の検証に使用する必要があるサーバと安全な LDAP ポート番号を [eDirectory Server Information] ページで指定します。そして [Next] をクリックします。
- 12 [Start Copying Files] ページの情報を確認して、[Next] をクリックします。
- 13 [Start Access Point] チェックボックスが選択されていることを確認します。
- 14（省略可能）[Configure Access Point HTTP and SSL Settings] チェックボックスを選択します。
- 15（条件に応じて実行）[Configure Access Point HTTP and SSL Settings] チェックボックスを選択した場合、A 章 59 ページの「SSL および HTTP 設定の構成」を参照してから、30 ページのステップ 16 に進みます。
- 16 [Finish] をクリックします。

注：ZENworks Desktop Management を使用しているユーザのデスクトップコンピュータまたはラップトップコンピュータに Access Point をインストールできます。詳細については、3 章 43 ページの「サイレントインストールによる Access Point と Desktop Synchronization Integration ソフトウェアのインストール」を参照してください。

既存の ConsoleOne への ConsoleOne スナップインのインストール

他の管理者またはヘルプデスクスタッフがネットワーク内の複数の場所から ZENworks Handheld Management にアクセスできるように、任意の数のコンピュータに ConsoleOne および ZENworks Handheld Management ConsoleOne スナップインをインストールできます。

既存の ConsoleOne に ConsoleOne スナップインをインストールするには

- 1 ConsoleOne がインストールされているコンピュータの CD ドライブに、*ZENworks Handheld Management* CD を挿入します。

インストールプログラムが自動的に実行されます。プログラムが自動的に実行されない場合は、CD のルートにある `winsetup.exe` を手動で実行します。

- 2 [Handheld Management] をクリックします。
- 3 [English] をクリックします。
- 4 [Handheld Management Services] をクリックします。
- 5 [ConsoleOne Snap-ins (Optional)] をクリックし、ウィザードの手順に従います。

ハンドヘルドクライアントのインストール

ZENworks Handheld Management は、TCP/IP 接続を実行できる Windows CE デバイスおよび Palm OS デバイス用の IP クライアントと RIM BlackBerry Client を提供するほか、Palm HotSync または Microsoft ActiveSync を使って同期を実行するハンドヘルドデバイス用の Desktop Synchronization ソフトウェアも提供します。

詳細情報については、以下を参照してください。

- ◆ [31 ページの「Windows CE IP Client のインストール」](#)
- ◆ [33 ページの「Palm OS IP Client のインストール」](#)
- ◆ [35 ページの「RIM BlackBerry Client のインストール」](#)
- ◆ [37 ページの「Desktop Synchronization Integration ソフトウェアのインストール」](#)

Windows CE IP Client のインストール

ZENworks Handheld Management は、TCP/IP 接続を実行できる Windows CE 用の IP クライアントを提供します。

Windows CE IP Client は、複数の種類の Windows CE デバイスをサポートします。ZENworks Handheld Management には、サポートする全デバイス用の CAB ファイルを作成できるウィザードが用意されています。適切な CAB ファイルをデバイスにインストールする必要があります。

ウィザードを実行すると、ZENworks Handheld Management サーバのコンピュータ名（または IP アドレス）または Access Point がインストールされたコンピュータ名（IP アドレス）の入力を求められます。

コンピュータ名または IP アドレスが CAB ファイルに組み込まれます。したがって、CAB ファイルをハンドヘルドデバイスにインストールした時点で、通信を実行する準備は完了します。

注： Access Point または Desktop Synchronization ソフトウェアがインストールされているコンピュータで Windows CE デバイスが Microsoft ActiveSync を使用する場合、ActiveSync を使用して Windows CE デバイスとの同期を実行するときに、適切な CAB ファイルが設定され、デバイスに自動的にインストールされます。こうした状況に合致する場合、次の手順を実行する必要はありません。詳細については、[47 ページの「Access Point と Desktop Synchronization Integration ソフトウェア」](#)を参照してください。

Windows CE IP Client 用の CAB ファイルを作成するには

- 1 CD ドライブに *ZENworks Handheld Management* CD を挿入します。
インストールプログラムが自動的に実行されます。プログラムが自動的に実行されない場合は、CD のルートにある `winsetup.exe` を手動で実行します。
- 2 [Handheld Management] をクリックします。
- 3 [English] をクリックします。
- 4 [Handheld Clients] をクリックし、[Windows CE IP Client] をクリックします。
- 5 [Next] をクリックします。
- 6 Windows CE IP Client がインストールされるディレクトリを確認し (必要に応じて、異なるディレクトリを参照します)、[Next] をクリックします。
- 7 [Access Point] テキストボックスに、ハンドヘルドデバイスが接続するサーバまたはコンピュータ (Access Point のインストール先) のコンピュータ名または IP アドレスを入力します。

この設定をハンドヘルドデバイスで実行したい場合、このテキストボックスを空白にしておくことができます。

IP アドレスを使用して ZENworks Handheld Management Server または Access Point コンピュータの場所を指定する場合、IP アドレスを固定する必要があります (たとえば、DHCP により変更されないようにします)。
- 8 (省略可能) [Enable HTTP Encapsulation] チェックボックスを選択します。
- 9 (省略可能) [Enable SSL] チェックボックスを選択し、必要に応じて [Accept Next Root Certificate from Access Point (And Then Disable)] チェックボックスを選択します。

`cfgip.exe` プログラム (デフォルトでは、`/program files/novell/zfhap` ディレクトリに存在) を使用して Access Point の設定 (HTTP、SSL、およびポート) を構成することもできます。`cfgip.exe` を使用して [Publish Root Certificate for Client Download] チェックボックスを選択した場合、ルート証明書が自動的にダウンロードされます。このルート証明書を受け入れられるようにするには、[Accept Next Root Certificate from Access Point (And Then Disable)] チェックボックスを選択する必要があります。
- 10 (省略可能) ZENworks Handheld Management が使用するデフォルトのポートを変更する場合は、[Use Default Port] チェックボックスの選択を解除して、使用するポート番号を [Port] テキストボックスに入力します。

デフォルトのポート番号を変更する場合は、IP コンジットがインストールされているコンピュータのポート番号も変更する必要があります。
- 11 [Next] をクリックします。
- 12 (省略可能) [Create Shortcut to the Client Console on CE Device] チェックボックスを選択し、[Next] をクリックします。
- 13 [Start Copying Files] ページの情報を確認し、[Next] をクリックします。
- 14 [Finish] をクリックします。

ウィザードにより、次に示すデバイス用の CAB ファイルが作成され、これらのファイルは、デフォルトで `program files\novell\zfh ceipclient` ディレクトリにコピーされます。

デバイスの種類	インストールする CAB ファイル
ARM ベースの Handheld PC 用 CE 3.0 (Handheld 2000) クライアント	zfhclientforce.hpc2000_arm.cab
MIPS ベース Handheld PC 用 CE 3.0 (Handheld 2000) クライアント	zfhclientforce.hpc2000_mips.cab
SH3 ベース Handheld PC 用 CE 2.11 クライアント	zfhclientforce.hpc211_sh3.cab
ARM ベース Handheld PC 用 CE 2.11 クライアント	zfhclientforce.hpc211_arm.cab
MIPS ベース Handheld PC 用 CE 2.11 クライアント	zfhclientforce.hpc211_mips.cab
MIPS ベース Pocket PC 2000 (Cassiopeia の一部のモデル)	zfhclientforce.ppc_mips.cab
SH3 ベース Pocket PC 2000 (Jornada の一部のモデル)	zfhclientforce.ppc_sh3.cab
ARM ベース Pocket PC (iPAQ およびすべての PPC2002 モデル)	zfhclientforce.ppc_arm.cab
Windows Mobile 2003 が稼働している Pocket PC	zfhclientforce.ppc2003_arm.cab

Windows CE IP Client をインストールするには

- 1 CAB ファイルが作成されたディレクトリ (デフォルトでは program files¥novell¥zfhclient) で、お使いのデバイスに適した CAB ファイルを検索します。
- 2 ご自分の環境に最適な方法で CAB ファイルをデバイスにコピーします (たとえば、Microsoft ActiveSync)。
- 3 CAB ファイルをデバイスにコピーした後、クリックして実行します。
Windows CE IP Client がハンドヘルドデバイスにインストールされます。

Palm OS IP Client のインストール

TCP/IP 接続を実行できる Palm OS デバイスをご使用の場合、各デバイスに ZENworks Handheld Management Palm OS IP Client をインストールできます。

Palm OS IP Client をインストールするには

- 1 CD ドライブに *ZENworks Handheld Management* CD を挿入します。
インストールプログラムが自動的に実行されます。プログラムが自動的に実行されない場合は、CD のルートにある winsetup.exe を手動で実行します。
- 2 [Handheld Management] をクリックします。
- 3 [English] をクリックします。
- 4 [Handheld Clients] をクリックし、[Palm OS IP Client] をクリックします。
- 5 [Next] をクリックします。
- 6 Palm OS IP Client がインストールされるディレクトリを確認し (必要に応じて、異なるディレクトリを参照します)、[Next] をクリックします。

- 7 [Handheld Configuration] ページで、ZENworks Handheld Management Server (または Access Point をインストールしたコンピュータ) のコンピュータ名または IP アドレスを入力します。

IP アドレスを使用して ZENworks Handheld Management Server (または、サーバ以外のコンピュータにインストールされている場合には Access Point) コンピュータの場所を指定する場合、このコンピュータの IP アドレスを固定する必要があります (たとえば、DHCP により変更されないようにします)。

- 8 (省略可能) [Enable HTTP Encapsulation] チェックボックスを選択します。

- 9 (省略可能) [Enable SSL] チェックボックスを選択します。

- 10 (省略可能) ZENworks Handheld Management が使用するデフォルトのポートを変更する場合は、[Use Default Ports] チェックボックスの選択を解除し、使用するポート番号を [TCP Port] および [SSL Port] テキストボックスに入力します。

これらのポート番号を変更する場合、Access Point がインストールされているコンピュータ (ZENworks Handheld Management Server、または Access Point をインストールしたコンピュータ) のポート番号も変更する必要があります。

- 11 [Next] をクリックします。

- 12 [Connections Options] ページの次のフィールドを指定します。

[Client Should Auto Connect to Server] : ドロップダウンリストから次のいずれかのオプションを選択します。

- ◆ **[Never]** : Palm OS IP Client が自動接続を実行することはありません。ユーザは Palm OS デバイスに表示される [ZENworks Handheld Management Console] アイコン、[Connect Now] の順にクリックすることにより、Palm OS IP Client を手動で接続する必要があります。
- ◆ **[When IP Connection Exists]** : IP 接続が確立している場合、Palm OS IP Client は、接続するタイミングになると必ず自動接続を実行します。
たとえば、デバイスが Ethernet クレードルで接続されている場合、デバイスで Bluetooth* が実行している場合、またはデバイスがモデムを使ってダイヤルアップ接続を実行している場合、接続するタイミングになると ([Client Should Connect Every] で指定) に、Palm OS IP Client は自動的に接続します。
- ◆ **[Always]** : Palm OS IP Client は、接続するタイミングになると、IP 接続を確立して IP コンジットに自動接続しようとします。

[Client Should Connect Every] : Palm OS IP Client が接続を実行する必要がある間隔 (時または分単位) を指定します。

[At Connection Time, Display to User] : ドロップダウンリストから次のいずれかのオプションを指定します。

- ◆ **[Nothing (Just Connect)]** : Palm OS デバイスのユーザは、Palm OS IP Client が接続していることを画面で確認できません。ただし、ユーザに対し、なんらかの操作を促す画面が表示されることはありません。
- ◆ **[Flashing Icon (Subtle)]** : 接続するタイミングになると、点滅するアイコンが Palm OS デバイスに表示されます。ユーザは、リマインダアイコンをクリックした後、[OK] をクリックして接続することができます。
- ◆ **[Dialog]** : 接続するタイミングになると必ず、ダイアログボックスが Palm OS デバイスに表示されます。ユーザは [Connect] をクリックして接続することができます。

- ◆ **[Dialog With Timeout]** : Palm OS IP Client が接続するタイミングになると必ず、タイムアウトの値を含むダイアログボックスが Palm OS デバイスに表示されます。ユーザが、タイムアウト期間内に [Connect] または [Cancel] をクリックしない場合、Palm OS IP Client は接続を実行します。

たとえば、デバイスが Ethernet クレドールを使って接続されている状態で、Palm OS IP Client が接続するタイミングになったときにユーザがその場になかった場合、Palm OS IP Client はタイムアウト期間が経過するまで待機し、その後接続を実行します。

- 13 必要に応じて、[Advanced Settings] をクリックして、次のフィールドを指定します。

[Connection Timeout (Seconds)] : Palm OS IP Client が接続を確立できない場合に、接続試行を中止するまでの経過期間 (秒) を指定します。

[Session Timeout(Seconds)] : Palm OS IP Client が接続を維持する時間 (秒) を指定します。セッション時間が指定された秒数に達すると、Palm OS IP Client セッションは終了します。

たとえば IP 接続が切断されると、Palm OS IP Client セッションは指定した秒数の経過後、終了します。

[Connect Retry (Seconds)] : 接続に失敗した後、再接続を試行する前に Palm OS IP Client が待機する秒数を指定します。

[Maximum Connect Retries] : Palm OS IP Client が実行する再試行の最大数を指定します。

[Timeout (Seconds)] : 接続を試行する前、アラームダイアログボックスを閉じるまでの秒数を指定します。

[Message] : Palm OS IP Client が接続するタイミングになったときに Palm OS デバイスに表示されるメッセージを入力します。

- 14 [OK] をクリックします。
- 15 [Finish] を 2 回クリックします。

ウィザードにより、Palm OS IP Client ファイルが作成され、このファイルがデフォルトで program files¥novell¥zfhpalm ip client ディレクトリにコピーされます。

ZENworks Handheld Management インストールプログラムを実行する以外にも、HotSync Manager Install Tool を使って program files¥novell¥zfhpalm ip client ディレクトリのコンテンツを Palm OS デバイスにコピーして、Palm OS IP Client をインストールする方法があります。

RIM BlackBerry Client のインストール

ZENworks Handheld Management RIM BlackBerry Client は、BlackBerry 無線プラットフォームを使用する BlackBerry デバイスの管理ソフトウェアです。

注 : Access Point または Desktop Synchronization ソフトウェアがインストールされているコンピュータで、BlackBerry デバイスが RIM Desktop Manager を使用する場合は、ZENworks Handheld Management は RIM BlackBerry Client で必要になるインストールファイルを自動的に作成し、これらのファイルを BlackBerry Application Loader に追加します。こうした状況に合致する場合、次の手順を実行する必要はありません。詳細については、47 ページの「[Access Point と Desktop Synchronization Integration ソフトウェア](#)」を参照してください。

RIM BlackBerry Client をインストールするには

- 1 CD ドライブに *ZENworks Handheld Management* CD を挿入します。

インストールプログラムが自動的に実行されます。プログラムが自動的に実行されない場合は、CD のルートにある `winsetup.exe` を手動で実行します。

- 2 [Handheld Management] をクリックします。
- 3 [English] をクリックします。
- 4 [Handheld Clients]、[RIM BlackBerry Client] の順にクリックします。
- 5 [Next] をクリックします。

- 6 RIM BlackBerry Client がインストールされるディレクトリを確認し (必要に応じて、異なるディレクトリを参照します)、[Next] を 2 回クリックします。

インストールディレクトリにコピーされる RIM BlackBerry Client ファイルには、2 つのクライアント .dll ファイルが含まれます。1 つは Mobitex ネットワークを使用するデバイス用のファイルで、もう 1 つは DataTAC ネットワークを使用するデバイス用のファイルです。コピーされるファイルには、BlackBerry Application Loader によって使用される .alx インストールファイルと環境設定アプリケーションファイルも含まれます。

注: RIM Desktop Manager ソフトウェアのバージョンが 2.1.3 (2.1 SP3) 以降でない場合、このソフトウェアは .alx ファイルを認識しない可能性があります。この場合、BlackBerry Application Loader を使って適切な .ali ファイルを BlackBerry デバイスにコピーする必要があります (Mobitex ネットワークの場合は `zfhbbmtexclient.ali`、DataTAC ネットワークの場合は `zfhbbdtacclient.ali`)。2 つの .ali ファイルは、*ZENworks Handheld Management* CD の `blackberryclient` ディレクトリに存在します。

- 7 **28 ページのステップ 28** で指定した、BlackBerry Client ソフトウェアが使用するサービスユーザの電子メールアドレスを入力します。

- 8 [Finish] をクリックします。

インストールプログラムにより、RIM BlackBerry IP Client ファイルが `program files\novell\zfhblackberryclient` ディレクトリにコピーされます。

- 9 [InstallShield Wizard Complete] ページの [Add Client to BlackBerry's Application Loader] をクリックして、必要なファイルを *ZENworks Handheld Management* が BlackBerry Application Loader に自動的に追加できるようにします。

BlackBerry デバイスによる同期の対象になるコンピュータから BlackBerry Client インストールウィザードを実行している場合、[Add Client to BlackBerry's Application Loader] オプションを有効にする必要があります。

- 10 [Finish] をクリックします。

Desktop Synchronization Integration ソフトウェアのインストール

次の条件に合致する場合、ZENworks Handheld Management の Desktop Synchronization Integration ソフトウェアをユーザのデスクトップコンピュータにインストールする必要があります。

- ◆ ハンドヘルドデバイスが Palm HotSync または Microsoft ActiveSync を使用して、ネットワークとの同期およびネットワークへの接続を実行する場合 (IP アクセスは使用しない)。
- ◆ RIM Desktop Manager ソフトウェアを使用する BlackBerry デバイスにアプリケーションを配布するのに、ZENworks Handheld Management を使用する場合。このとき、ZENworks Handheld Management を利用することで、クレードルを使って同期が実行される BlackBerry デバイスにソフトウェアを配布できます。無線同期を使った BlackBerry デバイスへのソフトウェア配布はサポートされていません。
- ◆ ハンドヘルドデバイスとの同期の対象になるデスクトップコンピュータに対してアプリケーションを配布する場合 (たとえば、Microsoft ActiveSync または Palm HotSync と統合するインストールプログラム)。

重要: インストールプログラムを使用して ZENworks Handheld Management Server をインストールすると、同じコンピュータに ZENworks Handheld Management Desktop Synchronization Integration ソフトウェアが自動的にインストールされます。

Desktop Synchronization Integration ソフトウェアをインストールするには

- 1 ユーザのコンピュータの CD ドライブに *ZENworks Handheld Management* CD を挿入します。
インストールプログラムが自動的に実行されます。プログラムが自動的に実行されない場合は、CD のルートにある *winsetup.exe* を手動で実行します。
- 2 [Handheld Management] をクリックします。
- 3 [English] をクリックします。
- 4 [Handheld Clients]、[Desktop Synchronization Integration Software] の順にクリックします。
- 5 [Next] をクリックします。
- 6 使用許諾契約書を読み、条項に同意する場合は [Yes] をクリックします。
使用許諾契約の条項に同意されない場合は、ソフトウェアをインストールしないでください。
- 7 Desktop Synchronization Integration ソフトウェアがインストールされるディレクトリを確認し、[Next] をクリックします。
デフォルトでは、*program files¥novell¥zfhd* ディレクトリにファイルがコピーされます。
- 8 ユーザ名と会社情報を入力して [Next] をクリックします。
- 9 インストールするコンポーネントが選択されていることを確認したら、[Next] をクリックします。

- 10 ZENworks Handheld Management Server がインストールされているコンピュータの名前または IP アドレスを入力し、[Next] をクリックします。

IP アドレスを使用している場合、ZENworks Handheld Management Server がインストールされているコンピュータの IP アドレスは固定される必要があります(たとえば、DHCP により変更されないようにします)。

DNS またはコンピュータ名を使用しているときには、ハンドヘルドデバイスがクレードルで接続されていて、サードパーティの同期パッケージを使用している状態であれば、デバイスが名前を解決できることを確認します。
- 11 Access Point がインストールされているコンピュータの名前または IP アドレスを入力します (ZENworks Handheld Management Server、または Access Point がインストールされたコンピュータ)。

IP アドレスを使用して、Access Point コンピュータの場所を指定する場合、IP アドレスを固定する必要があります(たとえば、DHCP により変更されないようにします)。

DNS またはコンピュータ名を使用しているときには、ハンドヘルドデバイスがクレードルで接続されていて、サードパーティの同期パッケージを使用している状態であれば、デバイスが名前を解決できることを確認します。
- 12 (省略可能) [Enable HTTP Encapsulation] チェックボックスを選択します。
- 13 (省略可能) [Enable SSL] チェックボックスを選択し、必要に応じて [Accept Next Root Certificate from Access Point (And Then Disable)] チェックボックスを選択します。

cfgip.exe プログラム (デフォルトでは、/program files/novell/zfhap ディレクトリに存在) を使用して Access Point の設定 (HTTP、SSL、およびポート) を構成することもできます。cfgip.exe を使用して [Publish Root Certificate for Client Download] チェックボックスを選択した場合、ルート証明書が自動的にダウンロードされます。このルート証明書を受け入れられるようにするには、[Accept Next Root Certificate from Access Point (And Then Disable)] チェックボックスを選択する必要があります。
- 14 (省略可能) ZENworks Handheld Management が使用するデフォルトのポートを変更する場合は、[Use Default Port] チェックボックスの選択を解除して、使用するポート番号を [Port] テキストボックスに入力します。

このポート番号を変更する場合、Access Point コンピュータ (ZENworks Handheld Management Server、または Access Point がインストールされたコンピュータ) のポート番号も変更する必要があります。
- 15 [Next] をクリックします。
- 16 [Start Copying Files] ページの情報を確認し、[Next] をクリックします。
- 17 ファイルをコピーしたら、[Start Desktop Sync] チェックボックスが選択されていることを確認して、[Finish] をクリックします。

インストール後のタスクの実行

ハンドヘルドデバイスを管理するには、次の作業を実行する必要があります。

- ◆ ハンドヘルドデバイスを eDirectory にインポートします。

次の各節には、インポートポリシーのセットアップに必要な情報が記載されています。

- ◆ [39 ページの「ハンドヘルドサービスパッケージの作成」](#)
- ◆ [41 ページの「ハンドヘルドインポートポリシーの設定」](#)
- ◆ ユーザが必ず通常の同期プロセス (Microsoft* ActiveSync、Palm* HotSync など) を使用してハンドヘルドデバイスを同期するようにします。

ハンドヘルドオブジェクトが eDirectory ディレクトリにインポートされると、ポリシーベースの管理を使用できるようになります。ソフトウェアアプリケーションを個々のハンドヘルドデバイスやハンドヘルドデバイスグループに配布したり、企業のすべてのハンドヘルドデバイスに関するハードウェアおよびソフトウェアのインベントリを収集したりすることもできます。

- ◆ ハンドヘルドオブジェクトに関連付けできるポリシーをセットアップします。詳細については、『[Novell ZENworks 6.5 Handheld Management 管理ガイド](#)』の「[ZENworks Handheld Management ポリシーの使用](#)」を参照してください。

ハンドヘルドサービスパッケージの作成

eDirectory オブジェクトであるポリシーパッケージには、1 つ以上の個別ポリシーが含まれます。ポリシーパッケージにより、機能に従ってポリシーがグループ化されるので、管理がより簡単になります。管理者はポリシーパッケージを使用してポリシー設定を変更すると共に、ポリシー設定による他の eDirectory オブジェクトへの影響についても指定できます。

ZENworks Handheld Management では、ハンドヘルドサービスパッケージにハンドヘルドインポートというポリシーが 1 つ含まれています。

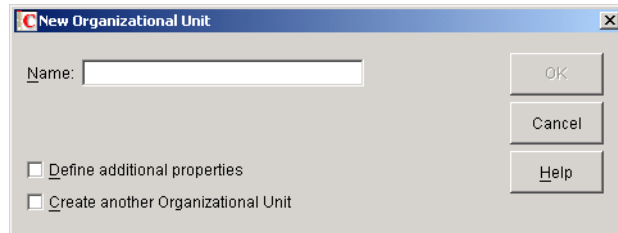
ポリシーパッケージを保持する部門 (OU) を作成する必要があります。この OU を配置する場所を決定するときは、次の点に考慮してください。

- ◆ ツリー内のパーティション
- ◆ eDirectory 内で課せられる完全識別名の 256 文字の制限
- ◆ ポリシーパッケージを見つけるための検索ポリシー

ツリー内を効率よく検索するために、ポリシーパッケージの関連付け先になるオブジェクトを含んだパーティションのルートに、このポリシーパッケージ OU を作成することをお勧めします。これにより、ポリシーの命名に使用できる文字数が最大になります。

ハンドヘルドサービスパッケージを作成するには

- 1 ConsoleOne で、ポリシーパッケージのコンテナを配置するコンテナを右クリックし、[New] をクリックして [Organizational Unit] をクリックします。



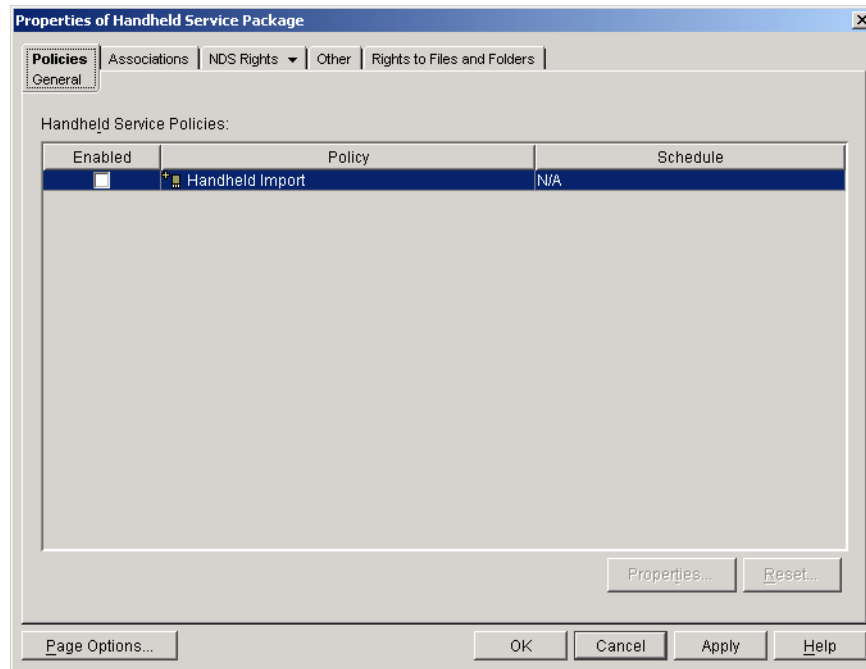
- 2 コンテナに短い名前を付け、[OK] をクリックします。
- 3 ポリシーパッケージを配置する新しいコンテナを右クリックし、[New]、[Policy Package] の順にクリックします。
- 4 [Handheld Service Package] を選択し、[Next] をクリックします。



- 5 ポリシーパッケージに短い名前を付け、[Next] をクリックします。
- 6 [Summary] ページに表示される情報を確認し、[Finish] をクリックします。

ハンドヘルドインポートポリシーの設定

- 1 ConsoleOne で、39 ページの「ハンドヘルドサービスパッケージの作成」の手順で作成したハンドヘルドサービスパッケージオブジェクトを右クリックし、[Properties] をクリックします。



- 2 ハンドヘルドインポートポリシーの [Enabled] 列の下にあるチェックボックスを選択します。

この操作により、デフォルトの設定を持つポリシーが選択されると同時に有効になります。

インポートポリシーの設定を変更することができます。詳細については、『Novell ZENworks 6.5 Handheld Management 管理ガイド』の「ハンドヘルドインポートのセットアップ」を参照してください。
- 3 [Associations] タブをクリックし、[Add] をクリックします。
- 4 パッケージを関連付けるには、ZENworks Handheld Management Service オブジェクト、Service オブジェクトを含むコンテナ、または ZENworks Handheld Management サーバコンポーネントのインストール中に作成されたコンテナオブジェクトを参照します。
- 5 [OK] をクリックします。

3

サイレントインストールによる Access Point と Desktop Synchronization Integration ソフトウェアのインストール

Novell® ZENworks® 6.5 Handheld Management のインストールを実行する場合、通常は ZENworks Handheld Management Server だけをインストールする必要があります。Handheld Management Server は、Windows* NT*/2000/XP コンピュータ（サーバまたはワークステーション）のサービスとして稼働します。ZENworks Handheld Management Server は、ZENworks Handheld Management の一元化されたインストールポイントであり、全クライアントとの通信を管理するだけでなく、インストールに関する配布スケジュールや配布結果を保持します。

以前のバージョンの ZENworks for Handhelds では、ZENworks Handheld Management Server に加えて、ハンドヘルドデバイスとの間で同期を実行する各コンピュータに Proxy Service ソフトウェアもインストールする必要がありました。ZENworks 6.5 では、Proxy Service ソフトウェアの代わりに ZENworks Handheld Management Access Point または Desktop Synchronization Integration ソフトウェアが新たに導入されています。

Access Point は、インストール時に Handheld Management Server に対して自動的にインストールされるコンポーネントの集合体です。Access Point を複数のコンピュータにインストールして、通信負荷を分散し、WAN 設定のサポートを拡張することもできます。Access Point を、同一 LAN 内やリモート WAN サイトに存在する他のコンピュータにインストールすることができます。各ハンドヘルドデバイスは、接続する必要がある Access Point を使って設定されます。

ZENworks Handheld Management Desktop Synchronization Integration ソフトウェアを使って、ユーザのデスクトップコンピュータにデスクトップソフトウェアをインストールし、Palm HotSync、Microsoft ActiveSync、および RIM Desktop Manager ソフトウェアと統合することができます。

詳細については、[47 ページの「Access Point と Desktop Synchronization Integration ソフトウェア」](#)を参照してください。

ネットワークから setup.exe を実行するか、ZENworks Desktop Management の Application Management コンポーネントを使用することにより、ユーザのデスクトップコンピュータに Access Point および Desktop Synchronization Integration ソフトウェアをインストールできます。さらに、setup.iss ファイルに適切な設定を実行することで、Access Point、Desktop Synchronization Integration ソフトウェアの両方に対してサイレント（自動）インストールを実行できるようになります。

サイレントインストールを実行することにより、インストール中に標準で表示されるプロンプトを排除して、ソフトウェアを迅速にインストールすることができます。

サイレントインストールを使用すると、setup.iss ファイルに保存された内容に基づいて各インストールが設定されるため、各コンピュータの Access Point または Desktop Synchronization Integration ソフトウェアに対して同一設定を実行できます。たとえば、

各コンピュータは同じインストールパスを使用して、同じ Handheld Management Server に接続します。

ZENworks Handheld Management Access Point または Desktop Synchronization Integration ソフトウェアを、さまざまなプラットフォーム (Windows 2000、Windows XP など) のコンピュータに配布する場合、その OS プラットフォームのコンピュータで次の手順を実行する必要があります。このコンピュータに対しては、ソフトウェアがインストールされるコンピュータと同じまたは同様の設定が適用されます。

Access Point または Desktop Synchronization Integration ソフトウェアのサイレントインストールを作成するには

- 1 ZENworks Handheld Management CD からローカルドライブまたはネットワークドライブにプロキシディレクトリをコピーします。

Novell Product Downloads (<http://download.novell.com/pages/PublicSearch.jsp>) から ZENworks Handheld Management ソフトウェアをダウンロードしてファイルを抽出した場合、すでにローカルまたはネットワークドライブにプロキシディレクトリが設定されているはずですが。

プロキシディレクトリには、Access Point と Desktop Synchronization Integration の両方のソフトウェアをインストールするための setup.exe ファイルが含まれています。

- 2 Access Point 用のサイレントインストールを作成するには、コマンドプロンプトに「**SETUP.EXE -r /accesspoint**」と入力します。

または

Desktop Synchronization Integration ソフトウェア用のサイレントインストールを作成するには、コマンドプロンプトに「**SETUP.EXE -r**」と入力します。

-r コマンドにより、Windows XP では windows ディレクトリに、Windows NT/2000 では winnt ディレクトリに setup.iss ファイルが作成されます。setup.iss ファイルには、サイレントインストール中に表示されるインストールプロンプトに対する回答が含まれています。

Access Point または Desktop Synchronization Integration ソフトウェアをインストールしている場合は、ユーザのコンピュータにインストールしているときにインストールプログラムが使用する正確な設定を指定する必要があります (たとえば、インストールパス、Handheld Management Server 名、通信設定など)。

手順については、29 ページの「他のコンピュータへの Access Point のインストール」または 37 ページの「Desktop Synchronization Integration ソフトウェアのインストール」を参照してください。

- 3 Windows XP では windows ディレクトリから、Windows NT/2000 では winnt ディレクトリから setup.iss ファイルを、44 ページのステップ 1 でコピーしたプロキシディレクトリにコピーします。

4 配布元になるネットワーク上の場所にプロキシディレクトリをコピーします。

ネットワーク上のプロキシディレクトリから `setup.exe` ファイルを実行して、Access Point または Desktop Synchronization Integration ソフトウェアをユーザのデスクトップコンピュータにインストールすることができます。

Access Point をインストールするには、`setup.exe -s /accesspoint` を実行します。

Desktop Synchronization Integration をインストールするには、`setup.exe -s` を実行します。

ZENworks Desktop Management の Application Management コンポーネントを使ってアプリケーションオブジェクトを作成することもできます。

アプリケーションオブジェクトを作成する際、実行可能ファイルとして `setup.exe` を指定する必要があります。[Parameter] フィールドに「`-s /accesspoint`」と入力して Access Point をインストールするか、「`-s`」と入力して Desktop Synchronization Integration をインストールします。

4

ZENworks for Handhelds 5.xからZENworks 6.5 Handheld Management へのアップグレード

Novell® ZENworks® for Handhelds 5.xをZENworks 6.5 Handheld Management にアップグレードすることができます。ZENworks for Handhelds 4.7 から ZENworks 6.5 Handheld Management にアップグレードすることはできません。

詳細情報については、次の節を参照してください。

- ◆ 47 ページの「このリリースの新機能」
- ◆ 49 ページの「ZENworks Handheld Management Serverソフトウェアのアップグレード」
- ◆ 52 ページの「Proxy Service ソフトウェアのアップグレード」
- ◆ 55 ページの「Windows CE IP Client または Palm OS IP Client のアップグレード」

このリリースの新機能

Novell ZENworks 6.5 Handheld Management には、次に示す新機能が用意されています。

- ◆ 47 ページの「Access Point と Desktop Synchronization Integration ソフトウェア」
- ◆ 48 ページの「ユーザベース管理と認証」
- ◆ 48 ページの「HTTP/SSL のサポート」
- ◆ 49 ページの「拡張されたハードウェアインベントリ」
- ◆ 49 ページの「ハンドヘルドデバイスのリセット」

Access Point と Desktop Synchronization Integration ソフトウェア

以前のバージョンの ZENworks for Handhelds では、ハンドヘルドデバイスとの間で同期を実行する各コンピュータに Proxy Service ソフトウェアをインストールする必要がありました。ZENworks 6.5 Handheld Management では、Proxy Service の代わりに新たに Access Point および Desktop Synchronization Integration ソフトウェアが導入されています。

Access Point は、インストール中に ZENworks Handheld Management Server に対して自動的にインストールされます。ただし、Access Point を複数のコンピュータにインストールして、通信負荷を分散し、WAN 設定のサポートを拡張することもできます。Access Point を、同一 LAN 内やリモート WAN サイトに存在する他のコンピュータにインストールすることができます。各ハンドヘルドデバイスは、接続する必要がある Access Point を使って設定されます。

Access Point は、アプリケーションおよびポリシー設定をハンドヘルドデバイスに配布するための中継ポイントとして機能します。Access Point は、TCP/IP を介してハンドヘルドデバイス（またはデスクトップ同期コンポーネント）との通信を実行します。ハンドヘルドデバイスが接続すると、中継されるすべての情報が（直接的に、または同期コンジットを使って）デバイスに配布されます。デバイスから受け取ったすべてのイベント情報は、ZENworks Handheld Management Server に渡されます。

ZENworks Handheld Management Desktop Synchronization Integration ソフトウェアは、Palm HotSync、Microsoft ActiveSync、および RIM Desktop Manager software と統合します。

Access Point に関する詳細については、[16 ページの「ZENworks Handheld Management Access Point の要件」](#)を参照してください。

Desktop Synchronization Integration に関する詳細については、[16 ページの「ハンドヘルドクライアントの要件」](#)を参照してください。

ユーザベース管理と認証

ZENworks Handheld Management を使うと、ユーザおよびデバイスの両方をベースにしてハンドヘルドデバイスを管理することができます。インストール中に、ユーザベースの管理を有効にすることができます。または、特定のハンドヘルドデバイスまたはデバイスグループだけを対象にするよう、クライアント環境設定ポリシーを設定できます。

ZENworks Handheld Management に新しいポリシーパッケージが追加され、eDirectory に保存されているユーザアカウント情報をベースにしたデバイスの管理を実行できるようになりました。以前のバージョンの ZENworks Handheld Management では、ハンドヘルドデバイスをベースとした管理しか実行できませんでした。新しいバージョンの ZENworks Handheld Management では、デバイスとユーザの両方をベースにして管理することができます (ZENworks Desktop Management と同様)。ユーザベース管理が有効になっている場合、各ユーザに対しアカウント情報の入力を求めるプロンプトが表示され、ZENworks Handheld Management は LDAP を介して eDirectory へのユーザ認証を実行します。個別のユーザベースポリシーは、ハンドヘルドベースポリシーと同じです。

インストール中に、ZENworks Handheld Management システム全体に対してユーザベース管理を設定する場合の詳細については、[22 ページの「ZENworks Handheld Management Server のインストール」](#)を参照してください。インストール後にグローバルベースでユーザベース管理を設定することもできます。詳細については、『[Novell ZENworks 6.5 Handheld Management 管理ガイド](#)』の「[ユーザ認証の設定](#)」を参照してください。

2つの新しいクライアント環境設定ポリシーに関する詳細については、『[Novell ZENworks 6.5 Handheld Management 管理ガイド](#)』の「[Using ZENworks Handheld Management Policies](#)」に記載されている「[Palm クライアント環境設定ポリシー](#)」と「[WinCE クライアント環境設定ポリシー](#)」を参照してください。

HTTP/SSL のサポート

ZENworks Handheld Management で HTTP サポートを有効にすると、ハンドヘルドデバイスから ZENworks Handheld Management Server に伝送されるデータを HTTP 形式でカプセル化することができます。したがってデータは、HTTP 以外のトラフィックをブロックするルータを通過することができます。

SSL を有効にすると、ZENworks Handheld Management Server、Access Point、およびクライアント間で伝送されるすべてのデータが暗号化され、サーバ認証が有効になります。

詳細については、[A 章 59 ページの「SSL および HTTP 設定の構成」](#)を参照してください。

拡張されたハードウェアインベントリ

ZENworks Handheld Management は、デバイスに関する IP アドレスと MAC アドレス（およびその他のアダプタ情報）を取得します。

詳細については、『Novell ZENworks 6.5 Handheld Management 管理ガイド』の「インベントリとレポートの使用」を参照してください。

ハンドヘルドデバイスのリセット

前のバージョンの ZENworks for Handhelds では、デバイスをハードリセットした場合、ZENworks for Handhelds はシリアル番号を使って、このデバイスを既存のデバイスとして識別し、ポリシーを適用することができました。ただし、アプリケーションの再展開が自動的に行われることはありませんでした。ZENworks Handheld Management では、ハードリセットされたハンドヘルドデバイスに対しアプリケーションが自動的に再送信されます。

ZENworks Handheld Management Server ソフトウェアのアップグレード

ZENworks Handheld Management Server をアップグレードする前に、ConsoleOne のバージョンを 1.3.5 から 1.3.6 にアップグレードする必要があります。Novell eDirectory™ スキーマを拡張して、ディレクトリの準備も行う必要があります。スキーマを拡張するには、ルートレベルの管理者権限を保持していることに加え、Novell Client™ がインストールされている必要があります。

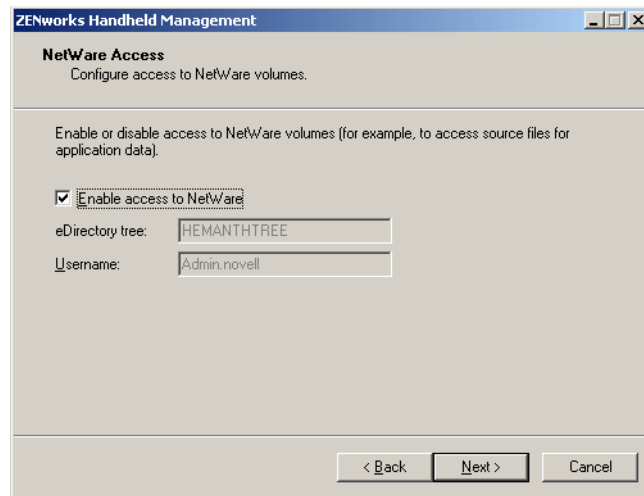
スキーマ拡張ツールを実行する前に、拡張の対象であるツリーにログインしていることを確認します。

スキーマを拡張するには

- 1 Novell Client が実行しているコンピュータに *ZENworks Handheld Management* CD を挿入します。
インストールプログラムが自動的に実行されます。プログラムが自動的に実行されない場合は、CD のルートにある `winsetup.exe` を手動で実行します。
- 2 [Handheld Management] を選択します。
- 3 必要な言語を選択します。
- 4 [Schema Extension and Product Licensing] をクリックします。
- 5 拡張する eDirectory ツリーを選択します。
- 6 [OK] をクリックし、[Next] をクリックします。
- 7 ライセンスコードを入力し、[Next] > [Finish] の順にクリックします。
- 8 [View Log File] をクリックします。
または
[OK] をクリックします。

ZENworks Handheld Management Server をアップグレードするには

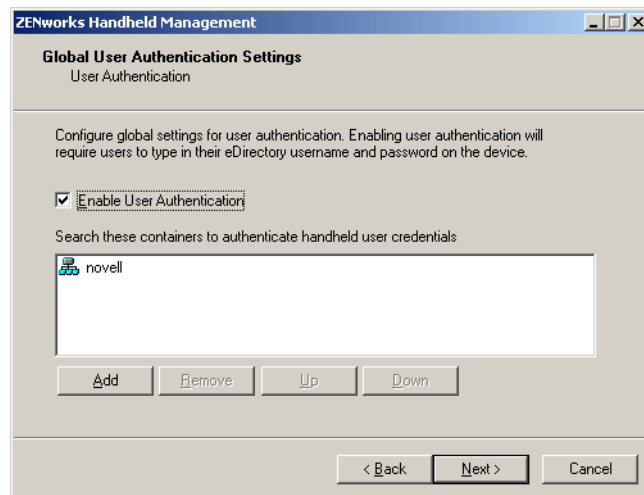
- 1 [Handheld Management Services] をクリックします。
- 2 [ZENworks Handheld Management Server] をクリックします。
- 3 [Update] をクリックし、[Next] をクリックします。
- 4 [Select Components] ページで、インストールするコンポーネントを選択します。
 - ◆ **[Novell ConsoleOne Snap-In]** : ハンドヘルドデバイスを管理できるよう、ConsoleOne の機能を拡張します。デフォルトではこのオプションが有効にされています。
 - ◆ **[RIM BlackBerry Device Support]** : RIM BlackBerry デバイスを管理するためのサポートを追加します。このオプションを選択した場合、電子メールアクセス用に MAPI プロファイルを設定する必要があります。詳細については、[20 ページの「MAPI プロファイルの作成 \(BlackBerry デバイスのみがサポート\)」](#)を参照してください。
- 5 [Next] をクリックします。
- 6 [Start Copying Files] ページの設定を確認して、[Next] をクリックします。
- 7 (省略可能) [Install Shield Wizard Maintenance Complete] ページで、[Display Readme File] チェックボックスを選択して Readme ファイルを表示し、ZENworks Handheld Management をインストールするときの注意点、および使用するときに認識しておく必要のある製品の問題を確認します。
- 8 (省略可能) HTTP カプセル化を有効にしたり、SSL(Secure Sockets Layer) を設定したり、デフォルトのポート設定を変更したりする場合には、[Configure Access Point HTTP and SSL Settings] チェックボックスを選択します。
- 9 [Finish] をクリックします。
- 10 (条件に応じて実行) [50 ページのステップ 8](#) で [Configure Access Point HTTP and SSL Settings] を選択した場合、HTTP カプセル化の有効化、SSL の設定、およびデフォルトのポート設定の変更に関する手順については、[A 章 59 ページの「SSL および HTTP 設定の構成」](#)を参照してください。この操作を完了したら、[50 ページのステップ 11](#) を続行します。
- 11 [Next] をクリックします。
- 12 [Service User] ページの情報を確認し、[Next] をクリックします。
- 13 [Directory User Information] ページの情報を確認し、[Next] をクリックします。
- 14 [Product Activation] ページで、実行するインストールの種類を指定します。
 - ◆ **[Evaluation]** : ZENworks Handheld Management の評価版をインストールします。評価版ではすべての機能を実行できますが、インストール後 90 日間しかご利用いただけません。
 - ◆ **[Activated]** : ZENworks Handheld Management の通常版をインストールします。[License Code] テキストボックスに、ライセンスコードを入力します。
- 15 [Next] をクリックします。



- 16 [NetWare Access] ダイアログボックス内の情報を確認して、[Next] をクリックします。

指定したツリー内の Novell NetWare® ボリューム上にあるオブジェクトにアクセスしたり、取得ファイルを NetWare ボリュームに保存したりする場合は、[Enable Access to NetWare] チェックボックスを選択します。

- 17 [Handheld Service Object Configuration] ページの情報を確認して、[Next] をクリックします。



- 18 (省略可能) ハンドヘルドデバイスを使用する際にユーザの eDirectory ユーザ名とパスワードの入力を求める画面を表示する場合は、[Global User Authentication Settings] ダイアログボックスの [Enable User Authentication] チェックボックスを選択し、[Add] をクリックして、ユーザが検索されるコンテナを指定し、[OK] をクリックします。

注： デバイスベースの管理ではなくユーザベースの管理を使用する場合には、[Enable User Authentication] チェックボックスを選択する必要があります。

- 19 [Next] を 2 回クリックします。
- 20 (条件に応じて実行) RIM BlackBerry サポートを有効にすることを選択した場合、BlackBerry Client ソフトウェアが使用するサービスユーザの電子メールを入力し、[20 ページの「MAPI プロファイルの作成 \(BlackBerry デバイスのみがサポート\)」](#)で作成した MAPI プロファイルを選択して、[Finish] をクリックします。
- 21 [Finish] をクリックします。

Proxy Service ソフトウェアのアップグレード

以前のバージョンの ZENworks for Handhelds では、ハンドヘルドデバイスとの間で同期を実行する各コンピュータに Proxy Service ソフトウェアをインストールする必要がありました。ZENworks 6.5 では、インストール中に Proxy Service ソフトウェアの代わりに Access Point が ZENworks Handheld Management Server に対して自動的にインストールされるようになりました。他のコンピュータに Access Point をインストールして、ZENworks Handheld Management サーバに接続することもできます。

ZENworks 6.5 Handheld Management では新たに Desktop Synchronization Integration ソフトウェアも導入され、ユーザのデスクトップコンピュータにデスクトップソフトウェアをインストールして、Palm HotSync、Microsoft ActiveSync、および RIM Desktop Manager ソフトウェアと統合することができます。

詳細については、[47 ページの「Access Point と Desktop Synchronization Integration ソフトウェア」](#)を参照してください。

インストールプログラムは、ZENworks 6.5 Handheld Management にアップグレードする Proxy Service ソフトウェアの設定に応じて、Proxy Service ソフトウェアを Access Point、Desktop Synchronization Integration のいずれかにアップグレードします。

アップグレードしようとしている ZENworks 5.x の Proxy Service ソフトウェアに IP コンジットがインストールされている場合、インストールプログラムは、Proxy Service ソフトウェアを新しい Access Point にアップグレードします。アップグレードしようとしている Proxy Service ソフトウェアに IP コンジットがインストールされていない場合、インストールプログラムは、Proxy Service ソフトウェアを新しい ZENworks Handheld Management Desktop Synchronization Integration ソフトウェアにアップグレードします。

詳細情報については、以下を参照してください。

- ◆ [53 ページの「ZENworks Handheld Management CD を使用した Proxy Service ソフトウェアのアップグレード」](#)
- ◆ [54 ページの「Proxy Upgrade ユーティリティを使用した Proxy Service ソフトウェアのアップグレード」](#)

ZENworks Handheld Management CD を使用した Proxy Service ソフトウェアのアップグレード

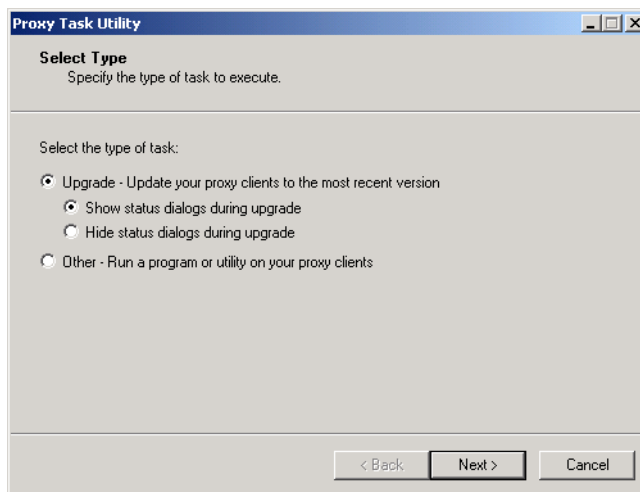
- 1 CD ドライブに *ZENworks Handheld Management* CD を挿入します。
インストールプログラムが自動的に実行されます。プログラムが自動的に実行されない場合は、CD のルートにある `winsetup.exe` を手動で実行します。
- 2 [Handheld Management] を選択します。
- 3 必要な言語を選択します。
- 4 [Handheld Clients] をクリックします。
- 5 [Desktop Synchronization Integration Software] をクリックします。
- 6 [Update] をクリックし、[Next] をクリックします。
- 7 (条件に応じて実行) ユーザーベースの管理を実行する場合: [eDirectory Server Information] ページで、ZENworks Handheld Management がユーザーのアカウント情報の検証に使用する必要がある eDirectory サーバと LDAP ポート番号を指定し、[Next] をクリックします。
注: アップグレードされる Proxy Service コンピュータに IP コンジットがインストールされており、Access Point にアップグレードされる場合に限り、[eDirectory Server Information] ウィンドウが表示されます。
- 8 [Start Copying Files] ページの設定を確認し、[Next] をクリックします。
- 9 (条件に応じて実行) HTTP カプセル化を有効化したり、SSL(Secure Sockets Layer) を設定したり、デフォルトのポート設定を変更したりする場合には、[Configure Access Point HTTP and SSL Settings] チェックボックスを選択します。
注: アップグレードされる Proxy Service コンピュータに IP コンジットがインストールされており、Access Point にアップグレードされる場合にのみ、[Configure Access Point HTTP and SSL Settings] オプションを利用できます。
- 10 [Finish] をクリックします。
- 11 (条件に応じて実行) **53 ページのステップ 9** で [Configure Access Point Settings] を選択した場合、SSL の設定、HTTP カプセル化の有効化、デフォルトのポート設定の変更に関する手順については、**A 章 59 ページの「SSL および HTTP 設定の構成」** を参照してください。

Proxy Upgrade ユーティリティを使用した Proxy Service ソフトウェアのアップグレード

Proxy Service がインストールされているすべてのコンピュータの Proxy Service ソフトウェアを、Proxy Upgrade ユーティリティを使ってアップグレードできます。たとえば、お使いのハンドヘルドデバイスがコンジットに接続するのに Window CE IP Client か Palm OS IP Client を使用しているとき、1 台の Proxy Service コンピュータだけが設定されている場合があります。この状況では、ZENworks Handheld Management CD を使用して Proxy Service ソフトウェアをアップグレードする必要があります。ただし、多数の Proxy Service コンピュータが存在する場合には、Proxy Upgrade ユーティリティを使ってすべての Proxy Service コンピュータをアップグレードしたほうが簡単です。

Proxy Service ソフトウェアをアップグレードするには

- 1 prxytask.exe (*installation_path* 内に存在) を実行します。



- 2 [Upgrade - Update Your Proxy Clients to the Most Recent Version] をクリックします。
- 3 目的のオプションをクリックします。
 - ◆ **[Show Status Dialogs During Upgrade]** : アップグレードプロセス中、ユーザが再起動を実行しないように促す情報ダイアログボックスを Proxy Service コンピュータに表示するには、このオプションを選択します。
 - ◆ **[Hide Status Dialogs During Upgrade]** : アップグレード中、Proxy Service コンピュータに情報ダイアログボックスを表示しないようにするにはこのオプションを選択します。
- 4 [Next] をクリックします。
- 5 アップグレードする Proxy Service コンピュータを選択します。
または
[Select All] をクリックし、インストールされているすべての Proxy Service コンピュータをアップグレードします。
- 6 [Next]、[Finish] の順にクリックします。

各 Proxy Service コンピュータが ZENworks 6.5 Handheld Management にアップグレードされていることを、ConsoleOne[®] 内の ZENworks Handheld Management サーバオブジェクトのプロパティを表示して検証することができます。

アップグレードした ZENworks 5.x の Proxy Service ソフトウェアに IP コンジットがインストールされている場合、インストールプログラムにより、Proxy Service ソフトウェアは新しい Access Point にアップグレードされています。アップグレードした Proxy Service ソフトウェアに IP コンジットがインストールされていない場合、インストールプログラムにより、Proxy Service ソフトウェアは新しい ZENworks Handheld Management Desktop Synchronization Integration ソフトウェアにアップグレードされています。

ConsoleOne で、ZENworks Handheld Management サーバオブジェクトを右クリックし、[Properties] をクリックして、[Access Points] タブ、[Desktop Sync Machine] タブのいずれかをクリックします。[Product Version] 列に、各コンピュータの Access Point または Desktop Synchronization Integration ソフトウェアのバージョンが一覧表示されます。列の一番上に表示される [Product Version] 見出しをクリックして、一覧を並べ替えることができます。

Windows CE IP Client または Palm OS IP Client のアップグレード

TCP/IP 接続を実行できる Windows CE デバイスまたは Palm OS デバイスを使用しており、これらのデバイスが ZENworks for Handhelds 5.x IP クライアントを使用している場合、各デバイスの Windows CE IP Client または Palm OS IP Client をアップグレードする必要があります。

Windows CE IP Client をアップグレードするには、適切な CAB ファイルを作成して、各デバイスに配布する必要があります。手順については、[31 ページの「Windows CE IP Client のインストール」](#)を参照してください。

注：Windows CE デバイスが、ZENworks Handheld Management Desktop Synchronization Integration ソフトウェアのインストールされたデスクトップコンピュータとの間で同期を実行する場合、Windows CE IP Client は自動的にアップグレードされるため、適切な CAB ファイルを作成する必要はありません。

Palm OS IP Client をアップグレードする場合には、[33 ページの「Palm OS IP Client のインストール」](#)を参照してください。

5

ZENworks Handheld Management のアンインストール

Novell® ZENworks® 6.5 Handheld Management ソフトウェアを削除する前に、Novell ConsoleOne® のリモートインストールを介してソフトウェアにアクセスしているユーザがいないことを確認します。

ZENworks Handheld Management ソフトウェアをアンインストールするには

- 1 アンインストールの対象になる ZENworks Handheld Management コンポーネントがインストールされたコンピュータのコントロールパネルを開きます。
- 2 [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。
- 3 アンインストールするコンポーネントをクリックします。
 - ◆ Novell ZENworks Handheld Management
 - ◆ Novell ZENworks Handheld Management Access Point

注： ZENworks Handheld Management Server をアンインストールしている場合、Novell ZENworks Handheld Management Access Point コンポーネントが一覧に表示されることはありません。Access Point コンポーネントは、他のコンピュータにインストールしたか、デスクトップコンピュータの ZENworks for Handhelds 5. x Proxy Service ソフトウェアを ZENworks Handheld Management Access Point にアップグレードした場合に限り表示されます。

- 4 [追加と削除] をクリックします。
- 5 アンインストールが完了したら [OK] をクリックします。

ZENworks Handheld Management コンポーネントがインストールされた各コンピュータに対し、同じ手順を完了する必要があります。

注： ZENworks Handheld Management コンポーネントをアンインストールしても、Novell eDirectory™ から Handheld Management オブジェクトが削除されることはありません。ディレクトリから Handheld Management オブジェクトを削除するには、オブジェクトを右クリックして [Delete NDS Object] をクリックし、削除を確認するために [Yes] をクリックします。

A SSL および HTTP 設定の構成

Novell® ZENworks® 6.5 Handheld Management は、Access Point と ZENworks Handheld Management Server 間の通信およびハンドヘルドデバイスと Access Point 間の通信にデフォルトで TCP/IP を使用します。

Access Point が 1 つだけインストールされている場合 (ZENworks Handheld Management Server の一部としてインストール)、Access Point と ZENworks Handheld Management Server 間のトラフィックがネットワーク外部に伝送されることはないため、HTTP や SSL を有効にする必要はありません。ただし、ハンドヘルドデバイスと Access Point 間の通信に対して HTTP と SSL を有効にすることはできません。

クライアントとサーバで SSL を設定する場合、追加の暗号化と検証がデータとデータソースに対して実行されます。

ファイアウォールの外部にある他のコンピュータに Access Point をインストールした場合や、ファイアウォールの外部から接続するハンドヘルドデバイスが存在する場合には、HTTP または SSL を有効にすることでファイアウォールのポートを開く必要性を排除できます。こうした状況では、すべての ZENworks Handheld Management の通信を暗号化する際にも HTTP または SSL を有効にすることができます。

ZENworks Handheld Management Server または Access Point で HTTP を有効にした場合、これらのサービスは TCP/IP プロトコルと HTTP プロトコルの両方をリスンします。

SSL は、Palm OS 5.1 以降が稼働する Palm OS デバイス、および Windows CE 3.0 以降が稼働する Windows CE デバイスでサポートされています。SSL 通信では HPC 2.11 はサポートされていません。

PPC 2000 デバイスで SSL 通信を実行するには、Pocket PC 1.0 用 High Encryption Pack をインストールする必要があります。デバイスをハードリセットする場合には必ずこのパックを再インストールする必要があります。High Encryption Pack に関する詳細については、[Microsoft High Encryption Pack for Pocket PC Web サイト \(http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=en&FamilyID=DA49D0CF-EF96-4567-B817-215E24668F75\)](http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=en&FamilyID=DA49D0CF-EF96-4567-B817-215E24668F75) を参照してください。

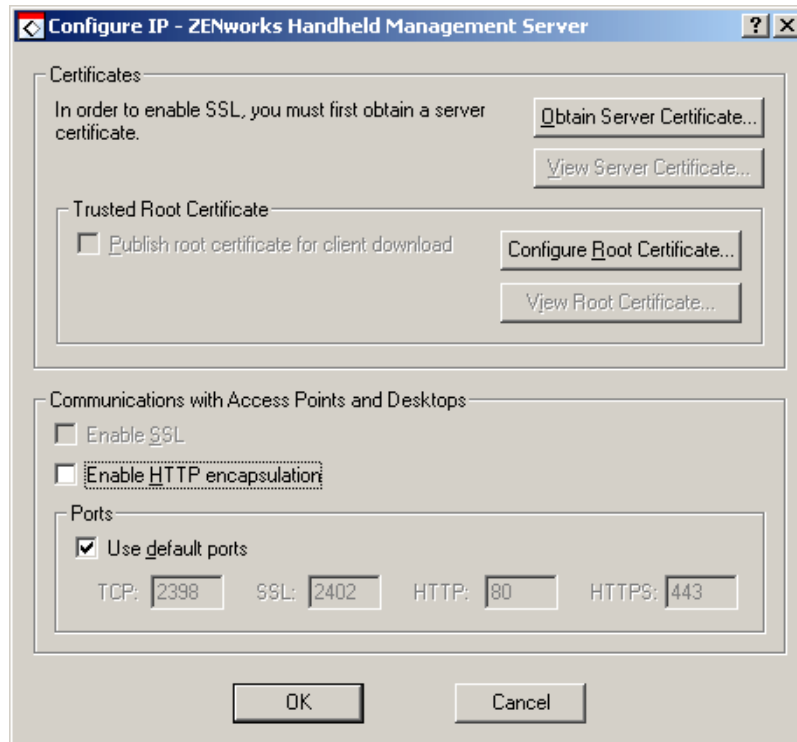
この節では、次の内容について説明します。

- ◆ 60 ページの「ZENworks Handheld Management Server と Access Point 間の SSL および HTTP 通信の設定」
- ◆ 62 ページの「Access Point およびハンドヘルドデバイス間の SSL および HTTP 通信の設定」
- ◆ 65 ページの「ZENworks Handheld Management Server と Access Point 間の通信で使用するデフォルトポートの変更」
- ◆ 66 ページの「Access Point とハンドヘルドデバイス間の通信で使用するデフォルトポートの変更」

ZENworks Handheld Management Server と Access Point 間の SSL および HTTP 通信の設定

cgfip.exe ファイルを使用して、SSL および HTTP の設定を構成することができます。

- 1 ZENworks Handheld Management インストールフォルダの cgfip.exe を実行します。



- 2 SSL を使用する前にサーバ証明書を取得します。

- 2a [Configure IP] ダイアログボックスの [Obtain Server Certificate] をクリックします。
- 2b [Certificate Wizard] ページの情報を確認し、[Next] をクリックします。
- 2c テキストボックス内にコンピュータの一般名を指定し、[Next] をクリックします。

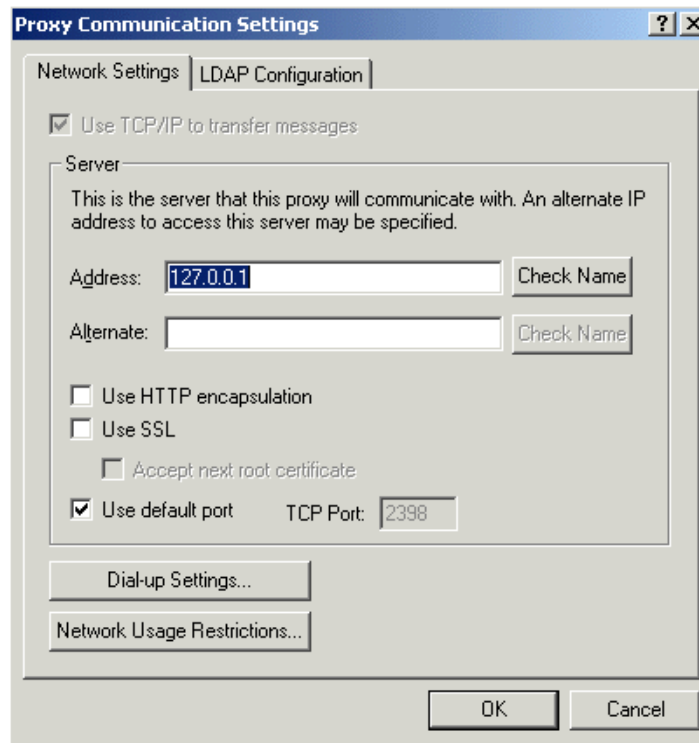
注: SSL を使って PPC 2000 デバイ스에接続する場合、次の点に注意する必要があります。

1. サーバのアドレスは IP アドレスとして保存されます。これは、PPC 2000 デバイスではドメイン名の解決が機能しないためです。

2. PPC 2000 デバイスが、IP クライアントを使って無線で接続される場合、CSR (Certificate Signing Request) を作成するときに、一般名の代わりに ZENworks Handheld Management Access Point の IP アドレスを指定する必要があります。これにより、デバイスが、証明書サーバを検証できるようになります。ただし、デバイスがクレドールを使って同期を実行している場合、そのデバイスで利用可能な ZENworks コンソールで [Use Desktop sync settings] チェックボックスを選択することにより、一般名を使用することができます。

- 2d [Country/Region]、[State/Providence]、および [City/Locality] テキストボックスに適切な地域情報を指定して、[Next] をクリックします。
- 2e 組織および部門に関する情報を指定して、[Next] をクリックします。
- 2f 証明書リクエストを保存する場所を指定し、[Next] をクリックします。

- 2g** [Finish]、[OK] の順にクリックします。
- 2h** NCS(Novell Certificate Services) や VeriSign* などの証明書署名機関により、証明書を署名してもらいます。
- 注：NCS を使用するには、Novell ConsoleOne® で、[Tools]、[Issue Certificate] の順にクリックし、プロンプトに従います。証明書を署名してもらう際（署名を選択した場合）、証明書を Base64 形式で保存します。
- Windows CE 3.0 および Pocket PC 2000 デバイスを実行しているハンドヘルド PC は、NCS から生成された証明書をサポートしていません。
- 3** SSL を使用する前にサーバ証明書をインポートします。
- 3a** [Configure IP] ダイアログボックスの [Import Server Certificate] をクリックします。
- 3b** [Next] をクリックします。
- 3c** [Process the Pending Request and Install the Certificate] オプションが有効になっていることを確認して、[Next] をクリックします。
- 3d** **61 ページのステップ 2h** で証明書を保存した場所を参照し、[Open] をクリックします。
- 3e** [Next] をクリックします。
- 3f** [Finish] をクリックします。
- 4** デスクトップ同期コンピュータまたはリモート Access Points が接続したときに自動的にダウンロードする、信頼済みの SSL ルート証明書を発行することができます。これは、サーバ証明書の署名に使用される証明機関のルート証明書になります。
- サードパーティの証明書署名機関を使用しているが、そのルート証明書（たとえば、NCS のルート証明書）が PC またはハンドヘルドデバイスに存在しない場合、自動的にダウンロードされるようルート証明書を発行することができます。
- 信頼済み SSL ルート証明書を発行する：
- 4a** [Configure IP] ダイアログボックスの [Configure Root Certificate] をクリックします。
- 4b** 署名されたルート証明書を検索して選択し、[Open] をクリックします。
- CA(Certificate Authority) から取得するルート証明書は、Base64 形式である必要があります。
- 4c** [OK] を 2 回クリックします。
- 5** ZENworks Handheld Management サーバで SSL を有効にするには、[Enable SSL] チェックボックスを選択します。
- 6** ZENworks Handheld Management サーバで HTTP を有効にするには、[Enable HTTP] チェックボックスを選択します。
- 7** Access Point で SSL/HTTP を有効にするには
- 7a** ZfHAP フォルダの console.exe ファイルを実行します。
- 7b** [Operations] > [Configure] > [Server Communications] の順に選択します。

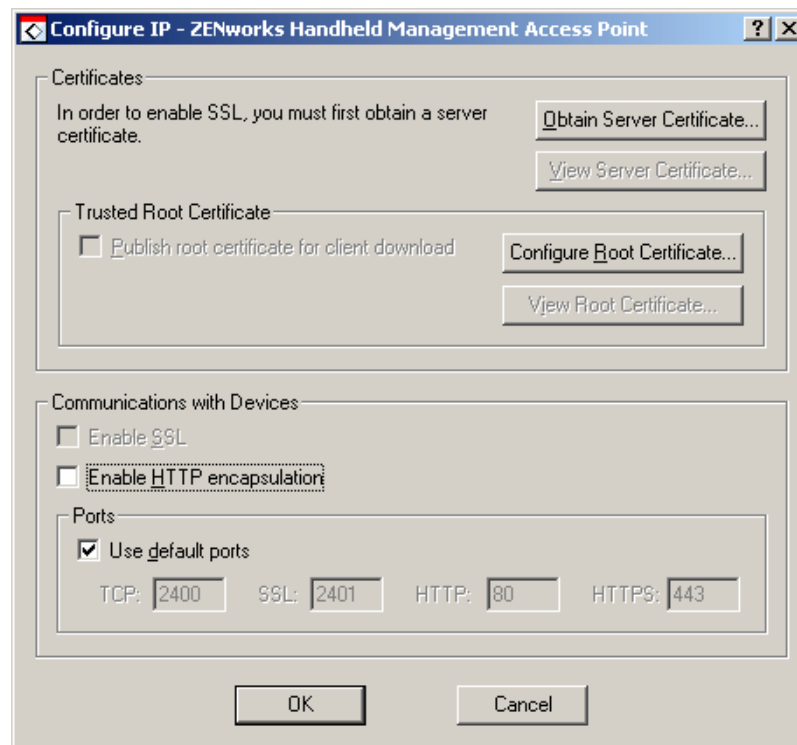


- 7c SSL を有効にするには、[Use SSL] チェックボックスを選択します。サーバ証明書が、標準の証明機関以外によって署名されている場合、[Accept Next Root Certificate] チェックボックスを選択します。
- 7d HTTP を有効にするには、[Use HTTP encapsulation] チェックボックスを選択します。
- 7e [OK] をクリックします。

Access Point およびハンドヘルドデバイス間の SSL および HTTP 通信の設定

インストール中に、Access Point とハンドヘルドデバイス間の SSL 通信および HTTP 通信の設定を実行することができます。または、ZfHAP フォルダの `cfgip.exe` を実行して、こうした通信を設定することもできます。

- 1 インストール中に [Configure Access Point HTTP and SSL settings] チェックボックスを選択した場合、[Configure IP - ZENworks Handheld Management Access Point] ダイアログボックスが表示されます。



2 SSLを使用する前にサーバ証明書を取得します。

- 2a [Configure IP - ZENworks Handheld Management Access Point] ダイアログボックスの [Obtain Server Certificate] をクリックします。
- 2b [Certificate Wizard] ページの情報を確認し、[Next] をクリックします。
- 2c テキストボックス内にコンピュータの一般名を指定し、[Next] をクリックします。
- 2d [Country/Region]、[State/Providence]、および [City/Locality] テキストボックスに適切な地域情報を指定して、[Next] をクリックします。
- 2e 組織および部門に関する情報を指定して、[Next] をクリックします。
- 2f 証明書リクエストを保存する場所を指定し、[Next] をクリックします。
- 2g [Finish]、[OK] の順にクリックします。
- 2h NCS(Novell Certificate Services) や VeriSign* などの証明書署名機関により、証明書に署名してもらいます。

注：NCSを使用するには、ConsoleOne® で、[Tools]、[Issue Certificate] の順にクリックし、プロンプトに従います。証明書に署名してもらう際（署名を選択した場合）、証明書をBase64形式で保存します。

Windows CE 3.0 および Pocket PC 2000 デバイスを実行しているハンドヘルド PC は、NCS から生成された証明書をサポートしていません。

- 3 SSL を使用する前にサーバ証明書をインポートします。
 - 3a [Configure IP - ZENworks Handheld Management Access Point] ダイアログボックスの [Import Server Certificate] をクリックします。
 - 3b [Next] をクリックします。
 - 3c [Process the Pending Request and Install the Certificate] オプションが有効になっていることを確認して、[Next] をクリックします。
 - 3d [63 ページのステップ 2h](#) で証明書を保存した場所を参照し、[Open] をクリックします。
 - 3e [Next] をクリックします。
 - 3f [Finish] をクリックします。
- 4 Windows CE クライアントが接続するときに自動的にダウンロードする、信頼済み SSL ルート証明書を発行できます。これは、サーバ証明書の署名に使用される証明機関のルート証明書になります。

サードパーティの証明書署名機関を使用しているが、そのルート証明書(たとえば、NCS のルート証明書)が PC またはハンドヘルドデバイスに存在しない場合、自動的にダウンロードされるようルート証明書を発行することができます。

信頼済み SSL ルート証明書を発行する：

 - 4a [Configure IP - ZENworks Handheld Management Access Point] ダイアログボックスの [Configure Root Certificate] をクリックします。
 - 4b 署名されたルート証明書を検索して選択し、[Open] をクリックします。

CA(Certificate Authority) から取得するルート証明書は、Base64 形式である必要があります。
 - 4c [OK] を 2 回クリックします。
- 5 Access Point で SSL を有効にするには、[Enable SSL] チェックボックスを選択します。
- 6 Access Point で HTTP を有効にするには、[Enable HTTP] チェックボックスを選択します。
- 7 ハンドヘルドデバイスで SSL/HTTP を有効にするには、ZENworks コンソールを開いて、次の手順を実行します。
 - 7a PalmOS デバイスの場合、ドロップダウンリストからサーバを選択し、[Use SSL] を選択します。

または

Windows CE デバイスの場合、[Configure] > [Use SSL] の順にクリックします。

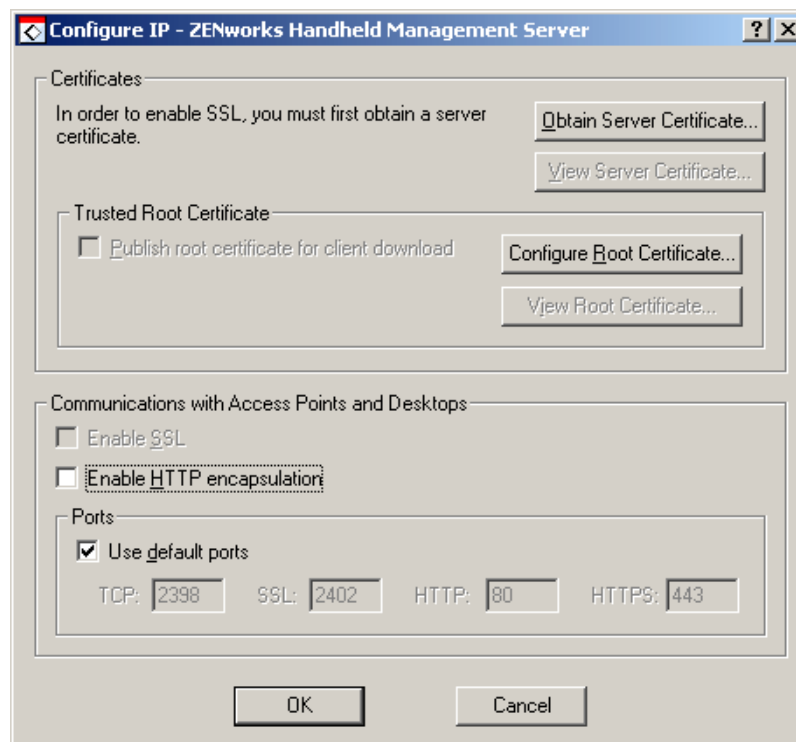
ルート証明書を発行している場合、[Accept Next Root Certificate] をクリックします。
 - 7b Palm デバイスで HTTP を有効にするには、ドロップダウンリストから [Server] を選択し、[Use HTTP encapsulation] をクリックします。

または

Windows CE デバイスの場合、[Configure]、[Use HTTP encapsulation] の順にクリックします。

ZENworks Handheld Management Server と Access Point 間の通信で使用するデフォルトポートの変更

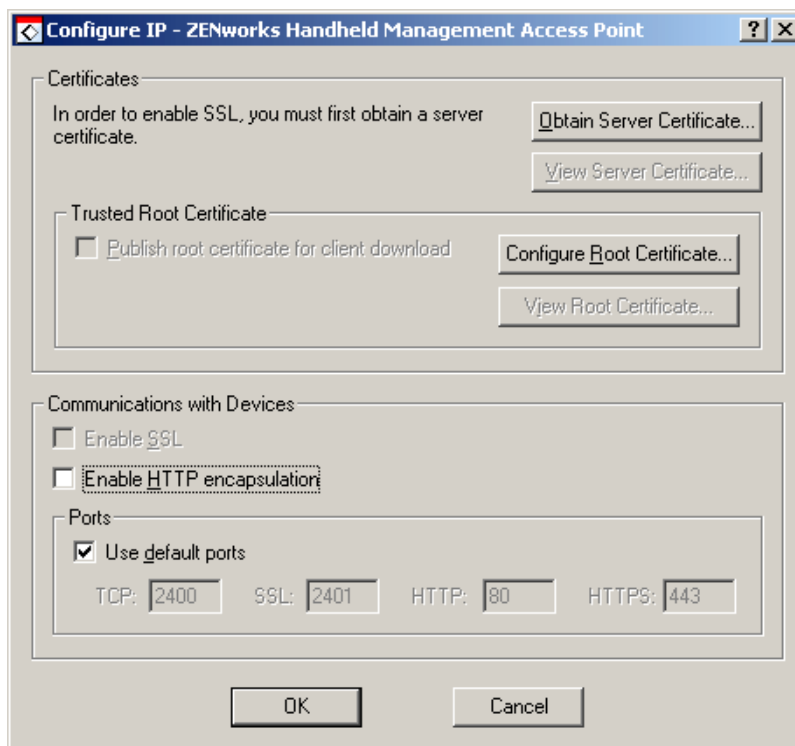
- 1 ZENworks Handheld Management サーバインストールフォルダの `cfgip.exe` を実行します。
- 2 [Configure IP- ZENworks Handheld Management Server] ダイアログボックスで次の操作を実行します。
 - 2a [Use Default] チェックボックスの選択を解除します。
 - 2b ZENworks Handheld Management Server で使用する TCP、SSL、HTTP、および HTTPS の各ポートを入力します。
 - 2c [OK] をクリックします。



- 3 新しいポートに接続するよう Access Point を設定します。
 - 3a ZFHAP フォルダの `console.exe` を実行します。
 - 3b [Operations] > [Configure] > [Server Communication] の順に選択します。
 - 3c [Use Default Port] チェックボックスの選択を解除します。
 - 3d Access Point が ZENworks Handheld Management Server との通信に使用するポートを入力します。
- 4 [OK] をクリックします。

Access Point とハンドヘルドデバイス間の通信で使用するデフォルトポートの変更

- 1 インストール中に [Configure Access Point HTTP and SSL settings] チェックボックスを選択した場合、[Configure IP - ZENworks Handheld Management Access Point] ダイアログボックスで次の操作を実行します。
 - 1a [Use Default Ports] チェックボックスの選択を解除します。
 - 1b Access Point で使用する TCP、SSL、HTTP、および HTTPS の各ポートを入力します。
 - 1c [OK] をクリックします。



- 2 ハンドヘルドデバイスで ZENworks コンソールを開き、次の操作を実行します。

PalmOS デバイスの場合、[ZENworks] メニュー > [Server] の順にクリックし、[Use Default Port] チェックボックスの選択を解除します。Access Point に接続する際にデバイスが使用するポートを入力します。

または

Windows CE デバイスの場合、[Configure] > [Use SSL] の順にクリックして、[Use Default Port] チェックボックスの選択を解除します。Access Point に接続する際にデバイスが使用するポートを入力します。